超描けるシリーズ
動物×人擬人化
アイデア＆テクニック
ケモミミ
キャラクターデザインブック
しゅがお 著
もふもふ
150%
マシマシ！
玄光社

動物×人 擬人化
アイデア＆テクニック
キャラクターデザインブック
ケモミミ
しゅがお 著
超描ける
シリーズ
もふもふ
150%
マシマシ！
玄光社

動物×人 擬人化 アイデア＆テクニック

ケモミミキャラクターデザインブック

玄光社

MMML

はじめに

この度は本書をお手に取っていただきありがとうございます。

本書は獣耳（ケモミミ）が生えたキャラクターデザインの方法やアイデアの出し方などを、私なりの考え方で解説した内容となっています。

私自身ケモミミキャラクターや動物自体がとても好きで、キャラクターとして描き起こす際に意識していることやこだわっていることを伝えられたらと思い、この一冊にぎゅっと詰め込みました。

掲載している内容はあくまで一例となりますが、本書を通じて少しでもケモミミキャラクターやそれ以外のキャラクターデザインの際の手助けとなれば幸いです。

2019年3月　しゅがお

もくじ

本書の見方

Chapter1

ケモミミキャラクターの基本

ケモミミキャラクターの概要、そしてキャラクターデザインに対する考え方を解説

Chapter2

ケモミミキャラクターのデザイン

ネコ、イヌ、キツネなど、動物ごとのキャラクターデザインを紹介

基本ページ

各動物の基本的な特徴を解説し、動物ごとのイメージからキャラクター化するテクニックを紹介

クールなネコ メス

タイプ別にキャラクターデザインも紹介

動物の種類別デザインページ

各動物を細かく分類し、それをキャラクター化するテクニックを紹介

細かいところは設定画や拡大図で確認できる

写真で実際の動物をチェック

動物をベースにキャラクター化

One Point

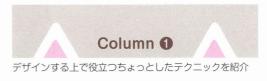
デザイン上のポイントや知っておくと便利なことを紹介

remake

キャラクターをさらに深堀りして再デザイン

デザインする上で役立つちょっとしたテクニックを紹介

動物ごとの表情アイデアを掲載

Chapter1

ケモミミキャラクターの基本

1 ケモミミとは？

古くから存在する擬人化表現の1つである動物の耳（ケモミミ）。
キャラクターデザインの話に入る前に、ケモミミについて解説します。

ケモミミの概要

ケモミミとは、人の形をしたキャラクターの頭に付いた動物の耳のことを指します。けもみみ、ケモ耳、ケモノ耳、獣耳と表記もさまざまですが、本書では「ケモミミ」としました。

ネコ耳、イヌ耳、キツネ耳、ウサ耳など、ベースとなった動物によって多くのバリエーションがあり、人に動物の特徴を付け加えて擬人化したのが、ケモミミキャラクターです。ケモミミキャラクターには独特のかわいらしさやワイルドさがあるとともに、見る人にその動物の持つイメージをストレートに伝えられます。
キャラクターデザインを考えたときに、単にケモミミが生えているだけでなく、多くはしっぽや牙なども一緒に描かれます。また、人の体に動物の要素を加える以外にも、髪型や服のデザイン、身に着けるアクセサリーでの表現もできます。なお、ケモミミキャラクターは、ヘビなどの耳の無い動物の擬人化も含んで、動物をモチーフとしたキャラクター全般を指すこともあります。

人と動物の割合による表現の違い

ケモミミとは、単に動物の特徴を持ったキャラクターのことではありません。動物の擬人化は表現の幅が広く、人間に近いのか、それとも動物の特徴を強く出したいのかによって変わってきます。はっきりとした線引きはありませんが、人と動物それぞれの割合によって外見が大きく変わってくるような場合は、まったく別の表現として扱っていきます。ケモミミ以外の表現として、人間の体格に動物に近い顔や手足、体毛を持つ「獣人」、体格や見た目は動物のそれで二足歩行のできる「化け動物」などがあります。本書で扱うケモミミは、人の形に最も近い外見とされることがほとんどです。

2 ケモミミの付き方

ケモミミの付き方に決まりはありませんが、付いている位置の長所を活かすことで、描くキャラクターの魅力が増します。それぞれの特徴を見ていきましょう。

上付き

たいていの動物の耳は、頭の上部に付いています。そのため、動物らしいしぐさをそのまま表現できる位置です。

ネコやイヌ、キツネなど、多くの動物に見られる立ち耳

イヌやウサギには垂れ耳のものもいる

横付き

側頭部から真横や斜め上に向かって付いています。また、人の耳に近い位置でもあるので、人に近い文化や感情を持つキャラクターを描く際にも適しています。

ヒツジやウシなどの耳の位置

複数付き

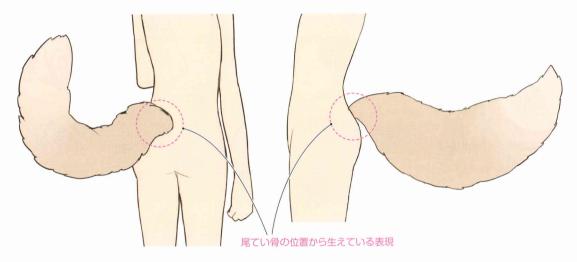
ケモミミに加えて人の耳も描くことで、動物らしいしぐさも、人間らしさも同時に表現できます。また、発想次第で複数の耳を描くのもおもしろいです。

キャラクターや世界観に合わせて、動物と人の耳を両方描いても良い

③ しっぽの付き方

ケモミミキャラクターに欠かせないのがしっぽです。キャラクターや世界観に合わせて、どのような表現がマッチしているのかを考えることが大切です。

しっぽの付いている位置

耳と同じく、しっぽの位置に絶対はありませんが、人でいうところの尾てい骨の位置から生えていることを意識すると、自然な描写になります。

しっぽの動作

動物によって大きさや形の違うしっぽの動きは、工夫次第で表現の幅を広げられます。顔の表情だけでなく、しっぽの動きも併せて感情を表したり、手足の代わりにしっぽを使ったりといった描写は、ケモミミキャラクターならではです。

しっぽを振る

最もポピュラーなしっぽの動きです。

しっぽをぴんと伸ばす

緊張や怒りといった状況の表現でよく使われます。

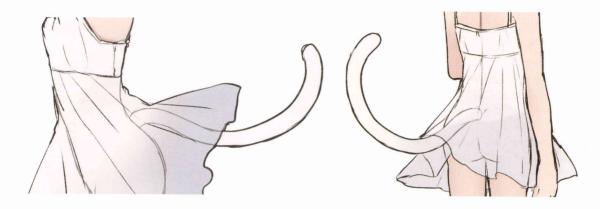
しっぽを手足のように使う

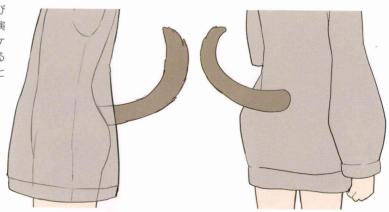
物を持つ、何かにぶら下がるなどの表現で使われます。

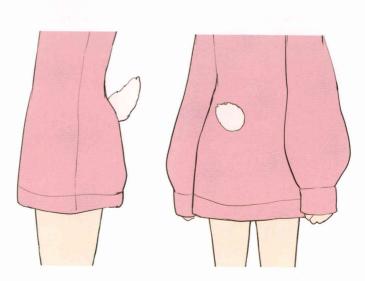
服との関係

しっぽと服の関係は、ケモミミキャラクターのいる世界がどのような文化を持ち、どのような生活をしているのかを説明をする上で大きな情報となります。

服の間から出ている

服の間からしっぽが覗いているような描写にすると、見た目には少しだらしのない感じになる反面、かわいらしさが強調されます。たとえば、異世界から迷い込んだケモミミキャラクターが、しっぽの無い文化の服を着ている場合などで使える表現です。

服を貫通している

服に穴が空いており、そこからしっぽが飛び出しているような描写は、自然な見た目を演出できます。たとえば、その世界においてケモミミキャラクターが主要な位置付けであることや、服を加工するだけの文化があることなどを説明できる表現です。

服と一体化している

キャラクターからしっぽを生やさずに、服やアクセサリー、使っている道具の一部としてしっぽのモチーフを活かす手法です。デザイン的にかわいらしい特徴的な服になるほか、そのキャラクターが、人と動物のどちらの割合が強いかを説明できます。

④ シルエットを意識したキャラクターデザイン

キャラクターのシルエットは、見る側の第一印象に直結します。魅力的なキャラクターは、シルエットも洗練されていることが多いです。キャラクターのシルエットを考えたときに、ファッションの世界で使われるシルエットやラインの考え方を応用できます。イラストの場合は服だけでなく、髪やアクセサリーの動きなども含めてシルエットを考えていきます。

Aライン

上半身はすっきりさせ、下半身にボリュームを持たせると、アルファベットの「A」のようなシルエットになります。三角形にも見えます。女性らしさをストレートに伝えることができ、どちらかというと少女らしいかわいい印象になります。男性キャラクターにかわいらしさをプラスしたい場合にも効果的です。
デザインとしては、ふわっと大きく広がるスカートや丈の長いマントを着せたり、上半身からすっぽりとワンピースを着せたり、髪の毛に広がりを持たせたりと、さまざまな表現が考えられます。

この本のキャラクターの多くは、このシルエットを意識して描いています。

Xライン

上半身と下半身にそこそこのボリュームを持たせ、腰のくびれなどの女性らしい体のラインを意識すると、アルファベットの「X」のようなシルエットになります。Aラインと同じように女性らしさが引き立つシルエットですが、より大人っぽさだったり、色っぽさが出ます。デザインとしては、上半身はパフスリーブで肩に膨らみを持たせ、下半身にはスカートを着せるなどが考えられます。また、胸の大きいキャラに向いているシルエットでもあります。

Iライン

上半身、下半身ともにボリュームの出ない服を着せてアルファベットの「I」のようなシルエットにすると、スタイリッシュですらっとした印象になります。デザインをシンプルにまとめることができるのも特徴です。背の高さや足の長さを引き立たせることができるシルエットなので、かっこいい大人の女性などに向いています。

Yライン

上半身にボリュームをもたせ、下半身をすっきりとさせると、アルファベットの「Y」のようなシルエットになります。逆三角形にも見えます。どちらかというと男っぽい印象になるため、ボーイッシュさを表現したい場合などに向いています。体を大きく見せることができるので、男らしさを引き立たせる際にも効果的です。

5 キャラクターデザインのコツ

ここでは、キャラクターデザインをする際のポイントを紹介します。なお、紹介している方法はどれもが正解ではありますが、決まりごとではないことを先に断っておきます。

キャラクターデザイン3つのポイント

キャラクターデザインを考えたときに、服やアクセサリーを身に着けさせていくことになります。身に着けているものが増えるほど華やかになっていきますが、反面、全体的にゴチャついてしまいます。そこで、キャラクターの個性を出したいときは、次の3つに気を付けてデザインするようにしています。

1. 身に着けさせるものを最小限にする

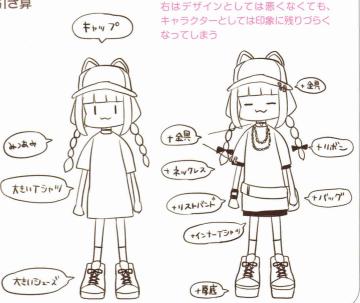
いろいろなものを身に着けさせてしまうと、どこを目立たせたいのかが伝わりにくく、結果的にキャラクターの個性が薄くなってしまいます。

2. キャラクターの象徴となる要素を身に着けさせる

派手な要素を身に着けていると、そのキャラクターの象徴や個性になります。このとき、要素の数は2～3個くらいに絞ります。

3. デザイン要素は足し算ではなく引き算

「どんなデザイン要素を加えるのか？」ではなく、「特徴的なものを残す」というイメージでデザインしていくと、個性的で魅力的なキャラクターができあがります。

右はデザインとしては悪くなくても、キャラクターとしては印象に残りづらくなってしまう

One Point

逆に、カードゲームやソーシャルゲームの1枚絵のような、画面の派手さを重視したイラストの場合は、キャラクターにさまざまなものを身に着けさせたり、画面内にいろいろなアイテムを配置する方法が効果的です。イラストの方向性に合わせて、デザイン要素の盛り方を考える必要があります。

"ケモミミ"キャラクターデザイン4つのポイント

キャラクターデザインのポイントを踏まえた上で、さらにケモミミキャラクターをデザインする際の4つのポイントを見ていきます。

1. 動物の外見を参考にする

擬人化のベースとなる動物の外見的特徴を活かして、キャラクターをデザインしていく方法。これが最もスタンダードで、見る側にもイメージを伝えやすいです。具体的には、下記のような方法が考えられます。

- **動物のシルエットを髪型や服のシルエットに取り入れる**
  例）もふもふ毛の動物はボリュームのある髪型にしたり、ファー付きの服を着せるなど
- **目の色をそのまま活かす**
  例）シャムネコは青い瞳、ヒマラヤン（ウサギ）は赤い瞳など
- **牙を八重歯で表現する**
- **動物の毛色を髪の毛や服の色などに取り入れる（次ページで解説）**

2. 動物の性格を参考にする

外見に加えて、性格的特徴もデザインをする上では大切です。たとえば、ネコは気まぐれでツンデレな性格の子、イヌは活発で明るい性格の子にすれば、イメージにぴったり。もちろん、ネコやイヌの中でも多種多様な性格がいるので、突き詰めていけばいろいろな個性を持ったキャラクターをデザインできます。

ネコはツンとした感じに　イヌは活発で明るい感じに

3. 動物の持つイメージを参考にする

自分自身が動物から感じるイメージや、世間的に広く普及しているイメージというのも、デザインをする上でのヒントになります。たとえば、ドーベルマンからは厳つさを感じたのでトゲトゲの首輪や服装を着せたり、狛犬やキツネのお稲荷様のイメージで巫女服を着せるなどのアイデアが考えられます。

4. 動物の一部分だけを参考にする

ある程度は動物を参考にしつつ、残りのデザインはまったくのオリジナルにする方法。たとえば、耳やしっぽだけを参考にして、残りはそれに似合う表情や服を考えていきます。デザインの自由度が最も高いです。

ネズミ＝チーズの世間的イメージから、チーズのロゴとチーズカラーの入った服でデザイン

毛色の表現に悩んだとき

デザインに動物の毛色を取り入れるのはポピュラーな方法のひとつですが、動物の毛色は千差万別、複雑な模様を描いていることもあり、表現することが難しい場合があります。そんなときは、キャラクターの一部分にだけその動物の最も特徴的な毛色や模様を入れてみましょう。具体的には、下記のような方法が考えられます。

- 髪に毛色のメッシュを入れる
- 服の色や模様として表現する
- アクセサリーに色や模様を取り入れる

シャムネコの特徴的な白黒の毛色をメッシュで表現

ウシ柄のスカートで、ウシをベースにしたキャラとひと目でわかる

着せる服に悩んだとき

ケモミミキャラクターに着せる服は、下記のようにヒントを得てデザインしていることが多いです。

- **動物の出身国の服を参考にする**
  例）パンダ→中国→チャイナドレス、ホッキョクオオカミ→北極→エスキモーなど
- **生活している気候の服を参考にする**
  例）寒い地方であれば暖かい服、暑い地方であれば薄着など
- **動物の役柄や持っているイメージを参考にする**
  例）ジャーマン・シェパード・ドッグなら警察犬、カラスなら魔女のイメージなど
- **名前のイメージで考える**
  例）ニホンジカなら和服、エジプシャンマウならエジプトっぽい服装など
- **シチュエーションに合わせる**
  例）秋なら秋服、水場なら水着など
- **着せたい服を着せる**
  例）メイド服、セーラー服など
- **ベースとなる動物そのものをアクセサリーとして取り入れるのもアリ**
  例）動物モチーフのぬいぐるみやヘアピン、ブローチ、リュックなど

パンダ顔の髪飾りでパンダのキャラクターとわかりやすくアピール

寒い北極に生息しているホッキョクグマには暖かい格好をさせている

あくまでも創作ということは忘れない

そもそもケモミミが創作物である以上、動物の特徴を厳密に描かなければいけない、といったルールはありません。極端な話、デザインや絵づら的にかわいいのであれば、細かいところまで忠実にする必要は無いと思います。たとえば、人間の耳＋ケモミミを描いたり、耳毛を誇張してふかふかにしたり、チョコやお菓子などの動物が食べてはいけないものを食べているなど、そういったところも含めてキャラクターの個性となり、十分に魅力的なものになります。
その上で、ケモミミやしっぽの形を、実際の動物を参考にしながら描き分けることができれば、耳やしっぽはただの飾りではなくなります。キャラクターにはこだわりや個性が生まれ、説得力のあるデザインになります。

Chapter2

ケモミミキャラクターのデザイン

1 ネコ

ネコは、老若男女問わず、多くの人に愛されている動物です。ここでは、身体的にも、性格的にも魅力いっぱいのネコを題材にキャラクターをデザインしていきます。

ネコ耳キャラのイメージ

性格的には気まぐれでクール、身体的にはしなやかで華奢というのが､多くの人がネコに持つイメージかと思います。そんなネコのイメージを擬人化しました。

ヨコ
○
△
顔が真横を向いていても、耳を若干斜めに向けたほうが自然な表現になる
しっぽは感情ともよく連動している
しっぽの生えている位置を意識する。人でいうところの尾てい骨の位置
※サイドのデザインがよくわかるように、あえて腕を描いていません
しっぽでスカートや布が持ち上がっているのは、動物をベースとしたキャラクターならではの表現
ウシロ
耳は頭の立体感を意識して付ける

気怠そうなネコ メス

いつも眠そうなネコは、気怠そうな表情も似合います。サイズの合っていないだぼっとした上着を着せることで、脱力感のある雰囲気にしています。

クールなネコ（メス）

ネコのクールで澄ました感じをイメージしました。表情に加えて、ポケットに手を入れるポーズでクールさを演出しています。しっぽでパーカーが持ち上がっているのもポイント。

カラーイメージ

かわいく威嚇するネコ（メス）

カラーイメージ

体を大きく見せて威嚇しようとしていますが、だぼっとした服なこともあってかわいい感じになっています。パーカーには、ネコの大好きな魚のロゴを付けました。

マッシュボブタイプ メス

マッシュボブの髪型を描きたくてデザインしました。外見だけだと何の動物かが伝わりにくいので、Tシャツに「CAT」の文字を入れてネコ耳キャラクターであることをアピールしています。

古着女子タイプ メス

大きい眼鏡と古着感のある服でサブカルっぽさを狙ってデザインしました。三つ編み＋メガネで文学少女風にもしています。

黒ネコ

黒ネコをイメージしたデザインです。本物のネコを一緒に描くことで、ひと目でネコ耳キャラクターとわかるようにしています。

カラーイメージ

一度キャラクターデザインをしておけば、いろいろなシチュエーションを描け、キャラに愛着も沸く

イエネコのデザイン

人との関わりが深いネコには、実にさまざまな品種がいます。
ここでは、人と一緒に生活するイエネコをベースにデザインを考えます。

メインクーン メス

ネコの中でも大きい品種なので、身長を高めにして気持ち大人っぽいイメージのデザインにしてみました。また、人懐っこそうな顔やしぐさでギャップを表現しています。

どんなネコ？

一説では、アメリカのメイン州に起源を持ち、アライグマ（ラクーン）に似た体模様からこの名前がついたといわれています。ヤマネコのように体が大きく、王者の風格すら感じさせる豪華な飾り毛と、ぴんと立った筆先のような耳、雪に沈まない大きな四肢が特徴。頭が良く、明るくお茶目な性格です。

スコティッシュフォールド オス

体の小さいネコなので、年齢を低めにデザインしてみました。股を開いておしりで座る「スコ座り」をイメージしたポーズです。

名前のスコティッシュフォールドとは、「スコットランドの折りたたまれたもの」という意味。長毛と短毛の2種類があり、コロコロとしたまん丸な顔や体型、くりっとした丸い目、そして折れ曲がった耳が特徴。頭が良く、家族を大切にする性格です。

アビシニアン メス

短毛、スレンダーな体型のネコであることから、短髪のスレンダーな少女にしました。ネコがしがちな、きょとんとした表情にしています。

エジプト・エチオピア出身との説から、エスニック柄の衣装に

全体的にスレンダーな体型のネコで、瞳の色は緑色、もしくはゴールド（琥珀色）が一般的です。ティックドタビーという1本の毛の中で色の濃い部分と薄い部分がある体毛となっているため、体全体ではキラキラと輝いて見えます。好奇心の強い性格です。

手足が短く、小柄なイメージがあったので、森にいそうなドワーフの木こり風のデザインにしました。顔の輪郭を含めて全体が丸っこく、寸胴で子供っぽいシルエットにしています。

耳は気持ち大きめに描いている。デフォルメ感が強まって小柄な体型が強調され、よりかわいらしさが引き立つ

カラーイメージ

顔の丸い感じは、髪の毛のボリュームを増やし、ツーサイドアップの髪型で表現

手足が短いねこなので、手足を短く太くしている

くびれの無い寸胴な体型

全身でAライン（三角形）のシルエット（P.20）を意識

木こりのポーチ。森に住んでる小さな木こりのイメージ

靴や手袋も大きめに描いている。これも小柄な体型を強調するためのデフォルメ表現

どんなネコ？

イギリス生まれのネコ。『オズの魔法使い』に登場する小人族（マンチキン族）にちなんで、マンチカンと名付けられたといわれています。小柄で短足、体長よりやや短く長いしっぽを持ちます。なお、短足のイメージが強いネコですが、普通のネコくらいの長さの子も存在しています。性格は明るく、好奇心旺盛で遊び好きです。

アメリカンショートヘア メス

人懐っこい顔つきと、甘え上手なイメージから妹系の子にしてみました。おさげをまとめる大きなシュシュやスカートのフリルでガーリィにしています。

耳は大きくも小さくもない感じ

代表的な縞柄模様を、髪の毛のメッシュで表現

顔の形が丸い印象があるので、少しボリュームのあるおさげで表現

全体が灰色に寄ってしまうので、瞳を緑色にして変化を出している

カラーイメージ

胸元のリボンと靴の赤色は差し色。瞳の緑色の補色になっている

どんなネコ？

アメリカ生まれのネコ。銀灰色の体毛とクラシックタビーという渦を巻くようなシマ柄が代表的ですが、いろんな柄があり、中には無地の子もいます。人懐っこい顔つきで、短毛、長いしっぽを持ちます。温厚かつおちゃめな性格で、子供やほかのペットとも仲良くできます。

One Point

差し色とは、イラストの中であまり使われていない色をワンポイントで入れるテクニックです。地味にまとまった色のアクセントとしたり、暗く重たい色味に明るく軽い印象の色を加えてバランスをとったりと、配色の幅を広げることができます。補色や反対色を入れることが多いです。

スレンダーな体型と真っ黒な毛並みから、魔法使いと一緒にいるネコという印象を受けたので、シンプルに魔女っ子にしました。マントのシルエットを工夫して個性を出しています。

髪が短くボリュームを少なめにしたので、帽子を大きくしている。相対的に、女の子らしい華奢なかわいらしさがプラスされる

帽子にはネコ耳の出せる穴が空いている

短毛種なので短髪でデザイン

黒に赤は、映える色の組み合わせ。各パーツのシルエットも良くわかる

マントの表地は黒、裏地は赤。色を切り替えることで、メリハリを出している

カラーイメージ

よりかわいらしさをアピールするために、マントの裾の部分をアレンジして花っぽい形にしている

スレンダーな品種なので、手足もそれに合わせて細く、華奢なラインを強調

どんなネコ？

アメリカ生まれのネコ。つややかで真っ黒な毛並みと、金銅色の大きな瞳が特徴。その外見から小さなクロヒョウとも呼ばれます。名前の由来はクロヒョウのいるインドにある都市「ボンベイ（ムンバイ）」からだといわれています。頭が良く明るい性格で、家族をとても大切にします。

エジプシャンマウ メス

出身地と名前のイメージからエジプトっぽいデザインにしてみました。暑いエジプトのイメージとすらっとした体型を表現したかったことから、肌の露出を多めにしたのがポイントです。脚の長いネコなので、脚を長く見せるための工夫をしています。

どんなネコ？

大きめの耳と緑色の瞳を持ち、後ろ脚が長く、つま先立ちで歩いているように見えるのが特徴のネコ。額にはスカラベマークといわれる、M字のような模様が入っています。顔の横から目につながる2本の濃いラインが特徴的で、古代エジプトの女性は化粧の参考にしたと言われています。家族には良く懐きますが、繊細で人見知りな面もあります。

シャム（モダンスタイル）

メス

耳が大きくて彫が深く、セクシーなイメージなので、すらっとした美女にしてみました。舞台女優やファッションモデルを意識しています。表情もキリっとさせて貫録を出しました。大人っぽさを出すために全体を黒でまとめています。

どんなネコ？

一説によると、古代タイの神聖な寺院や王室で飼われていたそうです。日本ではシャムの名称で親しまれていますが、海外では「サイアミーズ」と呼ばれています。鼻が高く小顔で、大きな耳とミステリアスな青色の瞳を持っています。一般的なシャムはすべてのパーツが細く長い体型で、これをモダンスタイルと呼びます。丸みを帯びた体型のシャムもいますが、こちらはトラッドスタイルと呼んで区別します。写真はモダンスタイルです。性格は基本的に愛想が良いですが、気まぐれなところもあります。

シャム（トラッドスタイル） メス

こちらは、丸みを帯びた体型のシャム（トラッドスタイル）をイメージしたキャラです。モダンスタイルと対照的にかわいく、あどけなく、子供っぽさを意識しました。肌の色、肉付きも健康的なイメージで描いています。明るく元気なイメージを強調するために、全体的に夏らしく、ハワイアンなバカンスっぽさを出しています。

下の子と同じキャラクター。海のイメージをそのままセーラーワンピースに

髪飾りは夏をイメージした花（上からハイビスカス、プルメリア、ヒマワリ）

ピンクのフリル付きビキニで、モダンスタイルと対照的な幼さを出している

ネイルの青も夏っぽさを意識

カラーイメージ

ヒマラヤン
メス
長毛種ということで、ロングのふわふわな髪の毛にしてみました。高貴なイメージからドレス風のワンピースを着せています。茶色の毛色から、お菓子っぽいメルヘンな色使いにしました。
焦げ茶色なふわふわの耳
顔周りの毛色は前髪のメッシュで表現
編み込みでお嬢様らしさを表現
しっぽはふわふわで焦げ茶色
編み込みはリボンで留めている
カラーイメージ
お菓子から連想したチョコレートカラーのドレス
特徴的な毛色の四肢は、手袋と靴を焦げ茶色にして表現
どんなネコ？
生まれはアメリカ、イギリスと諸説あります。長毛のシャムのような見た目で、青色の瞳を持ち、顔は平たく、タヌキのような柄が特徴です。耳、顔、四肢、しっぽの毛色が、ポイントで黒や茶色になっています。穏やかでおとなしい性格です。
頭と胸元のリボンは差し色の赤。さらに胸元のリボンの中央には赤の補色の緑色の入れて、2重のアクセントカラーにしている

ロシアンブルー メス

気品高い性格から、少しクールな顔つきの子にしています。高貴なイメージなので、皇族や王女様をイメージしたデザインにしました。大きくてゴージャスなマントにすっぽり収まったシルエットで、かわいらしさも出しています。ロシアンブルーという名前から、色は青色をベースにしました。

どんなネコ？

ロシア生まれのネコ。貴族のような青みがかった灰色の毛並みとエメラルドの瞳、三角形の大きな耳は離れてピンと立っているのが特徴です。口角が僅かに上がって微笑んでいるように見えることから、その顔立ちは「ロシアンスマイル」と呼ばれます。人見知りで気品高く、気難しい面もある性格ですが、一度懐いた人間には従順です。

短毛で大きめな三角形の耳

豪華なマント。裏地を暖色の差し色にすることで、全体が寒色に寄りすぎないようにしている

remake

より皇族らしいデザインに。短毛種なのでより短髪に。ただし、すべて同じ長さだと単調なので、動きと個性を出すためにもみあげだけが長い

カラーイメージ

裏地には模様を入れ、イラストの密度を上げてゴージャスに

マントがのっぺりしてるので、装飾を入れている

ペルシャ メス

中世ヨーロッパで貴族に飼われていたということから高貴なイメージを持ったので、大きなお屋敷の庭で日向ぼっこしてそうなお嬢様っぽいデザインにしました。また、とても愛らしい外見や中世ヨーロッパというところから、アンティークドールを意識しています。

どんなネコ？

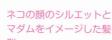
ネコ界の女王といわれるほど人気なネコ。ペルシャやイランから宝石や香辛料とともにシルクロードを渡り、ヨーロッパに広まったという説があります。長毛で全身がふさふさとしており、首周りにはとくに豪華な飾り毛があります。しっぽもふさふさでゴージャスです。気品のある落ち着いた性格をしています。

エキゾチックショートヘア

メス

見た瞬間「すごくマダム！」と感じたので、そのイメージをそのままデザインしました。マダム感のある落ち着きを出すために青色でまとめています。

リゾートハットは少し高貴なイメージにぴったり

頭に対して小さな耳が付いている

ぺちゃっとしたひょうきんでまん丸な顔立ちと、離れた小さい耳が特徴。短毛のペルシャといったイメージです。穏やかで落ち着いた性格で、のんびりすることが大好きです。

カラーイメージ

短髪なので、大きいリボンが似合う

名前のボブという部分からボブカットに

おしりの部分を少し空けてしっぽを強調

ジャパニーズボブテイル

メス

和風な衣装に加えて、特徴的なしっぽが出せるようなデザインにしています。三毛猫をイメージした白、黒、茶色がメインカラー。赤、緑、桜色の和菓子をイメージした色は差し色になっています。

カラーイメージ

日本でなじみ深く、最大の特徴はとても短いしっぽ。三毛猫のイメージが強いですが、いろいろな柄の子がいます。順応性が高く、穏やかな性格です。

ネコのなかまのデザイン

イエネコ以外にも、ネコ科のなかまはたくさんいます。ここでは、過酷な大自然を生き抜くため、強くたくましい進化を遂げた野生種のネコをベースにデザインを考えていきます。

クロヒョウ　オス

全身が真っ黒な毛で覆われているという特徴から、あまり肌を出さない黒を基調とした服にしてみました。スウェット系のパーカーの上に大きいパーカーを着崩して、スタイリッシュさとかわいらしさを同居させています。

どんな動物？

ヒョウの黒変種であり、クロヒョウという種がいるわけではありません。体毛は真っ黒というわけではなく、よく見るとヒョウと同じ斑点模様があります。木登りや隠れることが得意で、忍び寄って獲物をしとめる様子は正に暗殺者です。

ユキヒョウ オス

見た目や美しい顔立ちからとても神秘的なイメージを受けたので、中性的な顔立ちでミステリアスなデザインにしてみました。

中性感を出すために、髪の毛は長めの跳ねっ毛で表現

カラーイメージ

しっぽをマフラーのように巻く姿から大きめのマフラーを着用

名前のイメージから雪の中でも暖かそうなファー付きのミリタリーコートを着用

どんな動物？

中央アジアの高い山に生息する唯一の大型ネコ。雪を思わせる美しい灰色の体毛と斑点模様が特徴で、木に登ったり、断崖を歩くために、四肢は太く短く発達しています。とくに手足は大きく、雪の上でも沈みにくくなっています。ときおり、しっぽをマフラーのように巻く姿が確認できます。

ライオン オス

百獣の王ということで王様のイメージも捨てきれなかったのですが、どうしてもライオンがバックに入ったスカジャンを着せたくて、少しヤンキーっぽい兄ちゃんにしました。

特徴的なタテガミを髪型で表現

カラーイメージ

ライオンのプリント。動物本体をデザインに取り入れる手法

どんな動物？

アフリカのサバンナに生息する百獣の王。トラに次ぐネコ科第2位の大きな体格を持ち、オスだけが持つタテガミ、先端に黒いふさふさのついたしっぽが特徴。ネコ科で唯一群れで生活する動物でもあります。

オオヤマネコ

メス

飾り毛のある耳がかわいいと思ったのがデザインのスタート地点です。サイズの合わないパーカーワンピースをだぼだぼと着させて、かわいらしさを全面に押し出すようにしました。

どんな動物？

ヨーロッパやシベリアの森林地帯に生息するネコ科動物。頬にはトラに似た長毛があり、ピンと立った三角形の耳先から黒い飾り毛が生えているのが特徴です。耳先の毛は音や風の振動を読み取り、周囲を把握する役割があります。毛色は夏が赤みの強い灰色、冬は白に近い明るい灰色になり、茶色や黒の斑点模様があります。オオヤマネコの種類には、ヨーロッパオオヤマネコ（シベリアオオヤマネコ）、カナダオオヤマネコ、ボブキャットなどがいます。

トラ メス

中国に生息している動物ということと、「トラ＝格闘家」というイメージがあるので、チャイナドレスと拳法着を組み合わせてアレンジしたデザインにしました。格闘家っぽさを出しつつセクシーさもプラスしています。

どんな動物？

中国やインドなど、主に東南アジアに生息する世界最大サイズのネコ科動物。黄褐色の体毛と縞々の模様、ヒゲのある凛々しい顔つきが特徴。中国で「百獣の王」といえばトラを指します。龍と同格の霊獣ともされ、「竜虎相搏（う）つ」なんて言葉もあります。

砂漠の動物ということからシーフのイメージを抱いたので、服はそれを踏まえてデザインしました。砂漠っぽさを出すためにフード付きのマントを着せています。また、シーフの身軽さを表現するために、露出度は高めです。

西アジアの砂漠に生息するネコ科動物。横長の顔と左右に離れて付いている三角形の耳、小柄な体が特徴です。体毛は淡い黄色で、側面にはうっすらと横縞が入っています。足の裏にも長い毛が生えていて、砂漠の熱さや砂に沈むことを防いでいます。

マヌルネコ メス

マヌルネコといえば少し横に広がった丸い顔とふわふわの毛が特徴なので、ボブマッシュな髪型と襟元のファーで表現してみました。また、少しひょうきんな顔つきも特徴なので、描く際は意識してあげると、よりかわいくなると思います。

どんな動物？

「マヌル」とはモンゴル語で「小さいヤマネコ」を意味します。頬にはヒゲのような長毛があり、しっぽは縞々で先端は黒いです。コロコロと太って見える長い体毛のおかげで、凍った地面や雪の上で腹ばいになっても体が冷えません。

ネコの表情アイデア

ネコは、クールで気まぐれなイメージのある動物なので、そのイメージを活かした表情付けがおもしろいです。逆に、耳の動きや表情を大きく付けると、ギャップによる感情表現が狙えます。

喜ぶ

耳はニュートラル。目はネコのクールさを出すために、ニッコリとまではしていません。ネコ口にしてごきげんな感じです。

驚く

毛が逆立っているイメージで、髪の毛をぶわっと広げています。目を見開き、瞳孔は小さくし、口をすぼませたり、細長く開くようにすると、驚いているような表情になります。併せて、耳をピンと立てたり、しっぽを逆立てても良いと思います。

怒る

耳は、敵から守るために後ろに倒します。目とまゆ毛を近くしたほうが、眉間にしわが寄って吊り上がっている感じになります。髪の毛としっぽを逆立て、爪を出し、全身で怒りを表現しました。

悲しむ

耳をしゅんと伏せて、髪の毛をしんなりさせています。まゆ毛と目はハの字を意識。しっぽをだらりと垂れ下がらせても良いと思います。

興味無さそう

ねこじゃらしを振っても相手をしてくれない、こっちを見てくれない。そんな感じでネコが時折見せる、こちらに興味の無さそうな顔をイメージしました。無表情な感じで、目線は逸らし気味です。

眠そう

寝るのが大好きなネコらしい表情。耳は力無くだらっと下がる感じです。目は伏し目がちで、形は直線を意識して描いています。口も弛緩気味です。

②

イヌ

ネコと同じくらいポピュラーなパートナーがイヌです。ここでは、ネコとは違った魅力を持つイヌを題材にキャラクターをデザインしていきます。

耳は頭の形に沿うように

イヌ耳キャラのイメージ

元気で活発、そして人懐っこいというのが、多くの人がイヌに抱くイメージだと思います。外見は品種によってさまざまなため、一例として垂れ耳と上に向かってなめらかにカーブしているしっぽのイヌを擬人化しました。

マエ

口のパターン

牙をイメージした八重歯は、少し丸めにするとオオカミとの差を出せる

開口＋両八重歯

耳のパターン

先端を丸くすると、ネコとの差を出せる

しっぽのパターン
くるん型
例）柴犬
わしゃわしゃ
例）ゴールデンレトリバー
ヨコ
振ったり、うなだれたりと、感情表現豊かなしっぽ
※サイドのデザインがよくわかるように、あえて腕を描いていません
垂れ耳の場合でも頭の立体感に沿って描く
服の構造的にしっぽが出せるようになっている表現
ウシロ

狛犬タイプ メス

神社の狛犬をイメージしたデザインです。巫女服をベースにした肩出しの服でおしゃれに見えるようにしています。

干支の戌タイプ

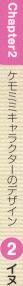
メス

干支の戌をイメージしたデザインです。白い毛色＋赤い晴れ着＋縁起物で正月風のデザインにしました。

カラーイメージ

カラーイメージ

食事をするイヌ

メス

肉まんをおいしそうに食べるイヌ耳の女の子。イヌは食欲旺盛な動物なので、おいしそうに食べ物をほおばる姿も似合います。

イエイヌのデザイン

人と一緒に生活するイエイヌもイエネコと同じくらい多くの品種がいます。そして、ネコよりも姿かたちにバリエーションがあるのも特徴です。

カラーイメージ

狩猟犬のイメージからトレジャーハンターにしました。動きやすいジャケットとフリンジ付きショートパンツファッションに、ゴーグル、ポーチ、ロープはどれもハンターアイテム。表情も元気で好奇心旺盛な感じです。

垂れ耳を髪型の一部で表現

細長い胴体が特徴のイヌなので、腰周りのシルエットを強調

長いマフラーは動きを出せるアイテム。シルエット的にも広がりが出る

肉球マークでケモミミキャラであることを主張

山でもへっちゃらな大きめのワーキングブーツ

ドイツ語でアナグマを意味する「ダックス」と、イヌを意味する「フント」という言葉が名前の由来。最大の特徴である長い胴と短い脚は、アナグマを狩る狩猟犬として大いに活かされます。長めの口先と垂れ耳も特徴です。体毛は、短めのスムースヘアード、柔らかく長いロングヘアード、硬く長いワイアーヘアードの3種類があります。性格は活発で好奇心旺盛、物怖じもせず勇敢です。

ボーダーコリー メス

牧羊犬ということで羊飼いをイメージしたデザインにしました。ふさふさの耳と上向きに巻いたしっぽが特徴なので、この2つを押さえてあげるとボーダーコリーらしくなります。

どんなイヌ？

一説として、スコットランドの方言で牧羊犬を意味する「コリー」という言葉と、スコティッシュ・ボーダーズ州で牧羊犬として飼育されていたことが名前の由来といわれています。大きな目を持ち、がっしりとした体格の中型犬です。短毛と長毛の種類があり、毛色はさまざま。活発で賢く、働きたがりな性格です。

ボルゾイ

メス

ロシア＝もこもこのファー帽子（ウシャンカ）というイメージから、ボルゾイ耳の飾りの付いたファー帽子をかぶせてみました。服や髪のカラーはボルゾイの毛の色。また、雪国のイメージから色白さや儚さ、可憐さが出るよう心がけました。

白、黒、薄い茶と全体的に色の無い感じなので、瞳は明るめの赤茶色にしてアクセントに

揺らして動きを出せる耳当て飾り。ボルゾイの毛をイメージ

ボルゾイの長毛をロングヘアで表現。色は毛色のグラデーションになるようにしている

ポンチョのふわふわのファーは、ボルゾイの毛並みを意識

One Point

ケモミミを体の一部としてではなく、身に着けている物に付けるのもテクニックです。ここでは帽子に付けています。

カラーイメージ

しっぽにも飾り毛がある

タイツも履かせてとにかく暖かい服装に

どんなイヌ？

ロシア出身の大型犬。流線型でスマートながらも筋肉の付いた体格と長い四肢、口元が長く、ほっそりとした小さめの頭に垂れた耳が特徴。体毛は長くややウェーブがかかっており、優雅な印象です。胸元や四肢の裏、しっぽには長い飾り毛があります。とても俊敏かつ強いアゴを持っているため、15世紀頃にはオオカミ狩りの猟犬として飼育されていました。性格は賢く、落ち着いています。

プードル（トイプードル）

メス

トイプードルの小ささとふわふわな毛並みをイメージして、ふわふわツインテールの少女にしてみました。ふわふわなイメージやリボンがよく似合うイメージから、甘めのロリータスタイル（甘ロリ）風の衣装にしています。

もふもふの垂れ耳はツインテールで表現

ボタンのように黒目がちなまん丸な瞳が特徴なので、それを意識

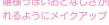
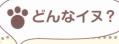
たくさんのリボンはお姫様的なかわいらしさを強調できるアイテム

甘ロリ感を増量。耳をイメージしたツインテールをすっきりさせ、表情も活発な感じから、お嬢様っぽいおとなしさが感じられるようにメイクアップ

毛並みが整えられ、ドレスアップしていることの多いプードル。そのイメージから、手鏡を持たせておしゃれ好きの設定に

服はピンク色。フリルもたくさん付けてかわいく

カラーイメージ

どんなイヌ？

生まれはフランスとされますが、諸説あります。大きさで種類が分かれており、トイプードルのほかに最も大きいスタンダードプードルなどがいます。もふもふの垂れ耳とふわふわ（ときにはくるくるにカール）な体毛が特徴。毛色は基本単色で、色はさまざま。とても賢い犬種でもあります。

ジャーマン・シェパード・ドッグ

メス

警察犬のイメージが強かったので、女性警察官のデザインにしました。余裕と自信を感じられる表情にして、大人っぽいできる女性のイメージで描いています。

大きめの立ち耳。稀に垂れていることもある

ネクタイは大きく描いている。身に着けている小物を大きくすることで、イラストにメリハリを出している

帽子は耳が突き出るような構造。ツバの部分はシェパードの鼻周りの黒毛をイメージ

カラーイメージ

手袋を気持ち短めにして個性を出している

前髪を上げておでこを出すと大人っぽくなる

女性らしい体のラインが出るタイトな制服

どんなイヌ？

ドイツ出身の世界中で最も数の多い大型犬。筋肉質で、背中からしっぽにかけてなだらかに下がった体型です。立ち耳とふさふさのしっぽを持ちます。短毛と長毛の種類がいて毛色はさまざまですが、いずれもマスクと呼ばれる黒い差し毛が鼻を中心に広がっています。洞察力や理解力が高く、知的で落ち着いた性格です。体格的特徴と性格から、警察犬や軍用犬としても広く採用されています。

ドーベルマン メス

噛む力が強い→口輪とイメージが発展し、全体的に黒いイヌだったこともあり、黒をベースカラーとしたゴスパンク風ファッションのデザインにしてみました。ドーベルマンの耳は元々垂れ耳ですが、今回は立ち耳のほうがかわいいと思って描いています。

口輪を外した顔

ドイツ出身の大型犬。力強いアゴと細く筋肉質な体格を持ち、なめらかな短い体毛で覆われています。ピンと尖った耳と非常に短いしっぽも特徴のひとつですが、これは断耳・断尾によるもので、本来は垂れた耳と細いしっぽを持っています。性格は落ち着いていて賢く、洞察力が高く繊細です。ジャーマン・シェパード・ドッグと同様に、体格的特徴と性格から、警察犬や軍用犬として広く採用されています。

ザ・日本犬というイメージから、日本男児→明治・大正浪漫の学生服とイメージを膨らませてみました。茶色っぽい赤毛ではなく、黒毛の柴犬をベースにしています。

柴犬の顔模様から麻呂眉にしたのがポイント

顔に対して小さめの立ち耳

髪型は、古風なマッシュルームカットに

黒一色だと重くなりすぎてしまうので、学生帽に赤と黄色の差し色をプラス

詰襟の学生服。現代の学生服の多くは、1886年（明治19年）に設立した帝国大学のものがベースになったといわれている

白手袋で軍服っぽさを残している

くるりと巻き上がったしっぽ

当時流行したバンカラなマントで、シルエットに広がりを持たせている

カラーイメージ

どんなイヌ？

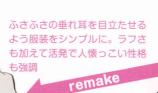
日本で人気の土着犬。小さめの立ち耳を持ち、くるりと巻き上がった太めのしっぽは、左巻きや右巻き、さし尾などの個性が見られます。体毛は短く、毛色は実にさまざまです（写真は黒毛）。元々が狩猟犬だったこともあり、勇敢で賢く、自立心の強い性格です。

ゴールデンレトリバー オス

元気いっぱいで人懐っこいイメージから、誰とでも仲良くなれそうな元気な男の子をイメージしました。ストリートカジュアル（ストカジ）系のファッションでまとめています。

イギリス生まれの大型犬。アーモンド型の目と垂れ耳を持ち、毛色はツヤのある金色、もしくはクリーム色です。体の前部と胸腹部、四肢の裏側、しっぽにはふさふさの長い飾り毛があります。性格は穏やかで明るく活発、とても賢く洞察力があります。

髪を長めにしてしまうと、垂れ耳が埋もれてしまいそうだったので短髪に。ただし長毛種なので、そこは跳ねっ毛で表現

ふさふさの垂れ耳を目立たせるよう服装をシンプルに。ラフさも加えて活発で人懐っこい性格も強調

スポーツブランドをオマージュしたロゴ

カラーイメージ

活発な性格なので、いろいろな場所に出かけられそうなバックパックを装備

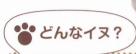
ふさふさ長めのしっぽは垂れている

日本スピッツ オス

小型犬なので小さな男の子にしようと考えました。日本の犬種でありながらどこかハーフっぽさを感じさせる顔立ちをしているので、外国の貴族に仕える執事をイメージしたデザインにしています。

シベリアンハスキー オス

とてもかっこよく凛々しい顔つきが特徴なので、ツリ目のキリッとした顔にしました。寒い国の犬なので、暖かいダウンジャケットを着せています。

どんなイヌ？

ロシアのシベリア地方を原産とする犬種。長めの上毛と厚い下毛による二重構造の体毛とたくましい体格を持ち、極寒地の「そり犬」としても有名。目の色もさまざまで、オッドアイのものもいます。性格は明るく前向きですが、頑固で不器用な面もあり、頭が悪いのではないかと誤解されがちです。

セントバーナード メス

救助犬として活躍したイヌ、というイメージがあったので、ファンタジーでいうところのメディック・薬師のデザインにしました。先祖犬が軍用犬だといわれているので、軍服ワンピースや腕章などで少しミリタリー要素も入れています。顔つきはおっとりと優しそうな子になるように心がけました。

どんなイヌ？

イタリアとスイスにまたがる雪深いアルプス山中にあった聖ベルナール（Saint Bernard）僧院の英語読みが名前の由来です。大きな体格と垂れ耳を持ち、しっぽは太めで先が少し巻かれています。温和で優しく、辛抱強い性格です。

ポメラニアン

メス

ポメラニアンの元気で甘えん坊な性格を表現するために、顔は幼めにしました。もふもふのしっぽにつぶらな瞳と、小さな三角形の耳が特徴なので、この3つを意識しています。嬉しそうにこちらに向かって手を振るポーズで、元気で活発な感じがストレートに伝わるようにしています。

どんなイヌ？

ドイツとポーランドをまたがるポメラニア地方の土着犬。小さな頭に丸く大きなつぶらな瞳、三角形の小さな耳を持ちます。まん丸な体と小さな手足、もふもふのしっぽが特徴。長い体毛は基本単色で、色はさまざまです。顔周り、胸元には飾り毛があります。性格は活発でフレンドリー、自分より大きなものにも挑む勇敢さも持ち合わせています。

チワワ メス

デザイン上のポイントは、チワワの少しウェーブがかったふわふわ毛を意識した髪型と黒目がちのくりくりした瞳です。内弁慶なイヌなので、笑顔なのか困っているのか、なんともいえない微妙な表情にしています。チワワはよくかわいい服を着ているところから、かわいらしさがストレートに伝わるピンク色でまとめました。

どんなイヌ？

メキシコ生まれの世界一小さな犬種。まん丸の大きな目やリンゴ型の丸い頭が特徴。体毛は、短めのショートヘアード、長めのロングヘアードの2種類がいます。性格は明るく活発、家族への忠誠心はとても高いですが、そうでない人には警戒心をむきだしにします。

ウェルシュ・コーギー・ペンブローク メス

コーギーのプリケツが大好きなので、お尻を強調したポーズにしてみました。元が牧羊犬ということで機敏に動き回るイメージから、少しボーイッシュでスポーティな女の子にデザインしています。

どんなイヌ？

イギリス出身。立ち耳とアーモンド形の褐色の目、胴長、短足の体が特徴。短毛で、毛色は赤色、セーブル色、フォーン色、黒と淡い茶色に限ります。しっぽのないイメージがありますが、これは断尾のためです。別種であるウェルシュ・コーギー・カーディガンは断尾を行いません。

イヌのなかまのデザイン

野生種のイヌのなかまは種類が多く、意外な動物がイヌ科に属していたりします。この先出てくるオオカミはもちろんですが、どこかネコっぽいキツネもイヌ科のなかまです。オオカミやキツネの前に、ここでは、タヌキのデザインを考えていきます。

タヌキ メス

タヌキの置物（信楽焼きのタヌキ）のイメージから、和風なデザインにしました。また、笠をかぶっていることから、旅をしている修行僧のイメージも加えています。女の子なので、着ている着物は大正浪漫をイメージして少し派手に。ただし、修行僧なので派手すぎてもいけないと思い、バランスをとって袴と羽織はシンプルで地味な色合いにしています。

着物の柄は「矢絣」という矢羽を並べたような日本の伝統模様。シンプルながらも和風感を強調でき、イラストの密度もアップできる

どんな動物？

山や川の付近の森に生息するイヌ科動物。ずんぐりとした体に丸みを帯びた小さい耳が特徴。死んだふりのうまい動物で、たとえば山で猟師に猟銃で撃たれるとパタリと倒れて身動きひとつしなくなりますが、猟師が目を離したすきに逃げてしまいます。ここから、死んだふりや寝たふりを意味する「タヌキ寝入り」の言葉ができたといわれています。

One Point

タヌキのしっぽは背面だけが黒くなっています。よく縞々だと勘違いされますが、それはアライグマなので混同しないように気を付けましょう。

イヌの表情アイデア

イヌは、耳、しっぽ、表情と体全体を使って感情表現をする動物です。品種ごとに耳やしっぽもさまざまなので、バリエーションが出しやすいのも特徴。ここでは、立ち耳の子の表情を掲載しています。

喜ぶ

ニコニコした満面の笑みです。口を大きく開けて、目はネコよりも曲線を意識したへの字。併せて、しっぽをパタパタさせてあげても良いと思います。

驚く

目を大きく見開き、毛が逆立っているイメージで髪の毛をぶわっと広げています。耳はピンと立て、少し直線を意識した線にしてあげると強張った感じが出ます。

怒る

唸っているときみたいに、歯をむき出して怒りを露わにしています。耳は、怒りの対象に向けてあげると良いと思います。

悲しむ

耳をしゅんとさせ、まゆ毛と目はハの字。しっぽもだらんと下げてあげると良いと思います。全体的に下がっているイメージで描くことで、元気が無く、悲しんでいる感じが出ます。

興奮する

喜ぶと驚くを合わせたようなイメージ。しっぽをぶんぶん振ってあげると、興奮状態がストレートに伝わります。耳を興味のある方向に向けても良いと思います。

リラックスする

安心しきってリラックスしている状態。耳はだらんと脱力し、しっぽはゆっくりと振っています。表情は弛緩して、とろけた感じです。

3

キツネ

キツネは、古くから信仰の対象であったり、はたまた人を惑わす妖（あやかし）の類としての逸話も数多く存在し、外見的なかわいらしさだけでなく、妖しさまでもが不思議な魅力となっています。ここでは、そんなキツネを題材にキャラクターをデザインしていきます。

耳はほかの動物よりも大きめに。
三角形を意識するとそれらしくなる

和のイメージが強い動物なので、前髪ぱっつん＋麻呂眉がよく似合う

キツネ耳キャラのイメージ

お稲荷様のイメージが強いので、巫女服を着た和風のキャラクターとして擬人化しました。もふもふのしっぽも大切です。

マエ

耳のパターン

大きいみみ

ピンと立ったみみ

気持ち前向きに

ほかの動物の立ち耳と同じように、
若干斜めを向けたほうが自然
白い耳毛はもふもふなので、
飛び出すように描いてあげ
ると良い
ヨコ
キツネはイヌと違って、しっぽを振
ることによる感情表現はあまり無い
※サイドのデザインがよく
わかるように、あえて腕
を描いていません
耳は頭の立体感を意識して付けるとと
もに、髪の毛との関係もアレンジする
ウシロ
しっぽのパターン
ほうき型
おっきいしっぽ
しっぽの大きさを誇張してもかわいい
大きめのしっぽをスカートの裾から
大胆に飛び出させてもかわいい

カジュアルタイプ

カジュアルなファッションでデザインしました。ジャケットは緑色で、ワッペンなどを付けることで少しミリタリー要素も足しています。特徴的な大きな三角形の耳を描くことでキツネとわかるようにし、あえてもふもふのしっぽを描かないことで、すらっとしたシルエットが出るようにしました。

カラーイメージ

巫女タイプ

キツネ＋巫女は王道の組み合わせ。巫女服をベースにした、肩出し、ミニスカート衣装でかわいらしさもプラスしています。手の形はキツネの影絵の顔です。

カラーイメージ

九尾の狐タイプ

複数のしっぽを持つ九尾の狐をイメージしました。妖艶(ようえん)な雰囲気にしています。

カラーイメージ

夏のバカンスタイプ

メス

リゾートハットをかぶって海辺のバカンスを楽しむキツネの女の子です。全体的に黄色と白を強めにすることで明るい色合いにし、ひまわりやハイビスカスといった夏らしい花をデザインに取り入れました。また、海辺なので腕にパールの付いたシュシュをしています。

カラーイメージ

いろんなキツネのデザイン

日本をはじめ、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、果ては北極まで、キツネは世界中のあらゆる場所にいて、その種類もさまざまです。ここでは、キツネの種類をいくつか取り上げ、その特徴を活かしたデザインを考えていきます。

アカギツネ　メス

相手を魅了するイメージから、いたずら好きで小生意気な表情をした女の子にしました。脚と太ももを見せるために、ショートパンツを履かせています。かわいらしさを引き出すデフォルメ表現として、しっぽは大きく、耳毛はもふもふのぽんぽんです。色は、キツネらしい白と黄色でまとめています。

どんなキツネ？

単にキツネといった場合、このアカギツネを指すのが一般的です。平原や森、高地、暑いところから寒いところまで、とても広い範囲に生息する動物です。名前のとおり毛色は赤褐色や褐色で、耳の後ろ側と四肢の色は黒。嗅覚や聴覚が鋭く、2メートルにも達するジャンプ力で小動物を捕えるハンターとしても優秀です。頭も良く、エサの埋めた場所を正確に記憶することができるほか、「チャーミング」と呼ばれる策略で獲物の目を釘付けにし、油断したところを捕まえます。

ギンギツネ メス

ギンギツネの黒毛を強く押し出したデザインです。ブラウスを着ているおしとやかな感じの女の子にしました。アカギツネの子と同じように、かわいらしさを引き出すデフォルメ表現として、耳毛のもふもふを必要以上に盛っています。全体が白黒にならないよう、瞳の青紫色とリボンの赤色でカラフルに見せています。

どんなキツネ？

アカギツネの中には、体毛が黒色や黒地に白い毛の混ざった銀色っぽい色合いものがいて、これをギンギツネと呼びます。さらに、顔、背中、しっぽの毛色が黒くなり、背中に十字の模様を描く「十字ギツネ」と呼ばれるキツネもいます。キツネの多くは人間と接触の多い場所に生息していることもあり、昔から民話などにもよく登場している動物です。近年は人間と一緒に生活することで、人間に懐いたキツネも多く見られるようになりました。

別パターン

こちらは、ギンギツネの名前から銀色を強く押し出したデザインです。「狐の嫁入り」からイメージを発展させ、ウェディングドレスを着せています。

フェネックギツネ

メス

小さくてすばしっこそうなイメージがあったので、動きやすさを意識したデザインにしました。砂漠で生活でしている動物ということもあり、サバイバルもできそうなアウトドアウェアです。キツネをイメージさせる黄色を全体のベースカラーに置き、派手めの色合いでまとめています。

どんなキツネ？

砂漠の生活に適応したキツネ。とても大きな耳とイヌ科最小ともいわれる小さな体が特徴。大きな耳は、獲物の捜索や敵の接近を感じるための聴覚を助けるほか、熱の放出による体温の調節に役立ちます。柔らかく厚い体毛で全身を覆っており、とくに足裏の毛のおかげで熱い砂の上を歩いても大丈夫です。体毛の色はクリーム色で、砂漠での保護色となっています。得意の穴掘りで巣穴を作ったり、獲物を捕まえたりします。

ホッキョクギツネ メス

もふもふに着込んだ暖かそうな服装にしました。ファーコートは色とともに冬毛をイメージしており、下に着ているものは夏毛をイメージ。夏毛の上から冬毛を着込んでいる表現になっているのが、デザイン上のポイントです。

どんなキツネ？

北極圏の極寒地に適応したキツネ。厚い体毛と豊富な体脂肪により、丸っこい体型をしています。体毛は、冬は真っ白ですが、夏場は灰褐色になります。青に近い体毛のものもいます。特技は泳ぐことです。

コサックギツネ オス

コッサクという名前からロシアをイメージした暖かそうな服を着せています。また、荒野にいるイメージから、ベルトを付けてミリタリーっぽさも出しました。裏地の黄色はところどころに入った毛色のイメージであるとともに、荒野カラーの暗いトーンを和らげる差し色になっています。

どんなキツネ？

ステップ地帯などの乾燥した荒れ地に生息するキツネ。赤～黄色を帯びた薄い褐色に、雪を散らしたような白色の混ざった体毛は、キラキラと銀色に輝いているように見えます。その美しい体毛から乱獲されてきた厳しい歴史を持ちます。

キツネの表情アイデア

キツネは、三角形の大きな耳を存分に活かした表情作りができます。お稲荷様や九尾の狐などの伝説から、どこか神秘的なイメージのある動物なので、少し含みのある表情をさせるのもイメージにぴったりです。

喜ぶ

基本はイヌに近いイメージですが、ツリ目を意識しました。口は大きく開けていますが、イヌよりも控えめにして違いを出しています。

驚く

ほかの動物と同じように、目を大きく見開き、髪の毛をぶわっと広げています。大きい耳はピンと立て、鋭く強張ったシルエットを意識しました。

怒る

大きな耳をピンと立てて、目つきを鋭くしています。少しツンツンした感じを強く出したほうが、キツネらしくなるように思います。

悲しむ

大きな耳は下がり気味で、まゆ毛はハの字。ツリ目なイメージなので、目尻を下げすぎないようにしています。

からかう

ちょっと意地悪な表情です。ジト目で、口は三角形になるように開いています。とらえどころの無い感じもキツネのイメージにぴったりです。

キツネ目

実際のキツネに近い目の形。その動物らしい象徴的な表現は、どんな動物をベースに擬人化したのかが、見る人にわかりやすく伝わります。

Column ❶

服のロゴを考える

Tシャツなどの服のロゴは、デザインする上で楽しい要素のひとつです。既存のロゴをオマージュしたり、まったく新しいロゴを考えたりと、ワンポイントでキャラクターの個性をプラスできます。また、どんなキャラクターなのかをわかりやすく伝える記号としても便利です。たとえば、ケモミミだけだと何の動物をベースとしているのかがわかりにくい場合、「NEKO」や「DOG」などのロゴを入れておけば、どんな動物なのかがわかりやすく伝わります。

Tシャツのロゴを「NEKO」にして、「O」の部分をネコの顔に。真っ先にロゴが目に入ってくるので、ネコ耳キャラクターであることがストレートに伝わる

肉球マークは、動物をベースとしていることがひと目でわかる記号。ほとんどの動物に使えて便利

カバーの子はキツネ耳キャラクターなので「FOX」のロゴを入れている

4

オオカミ

イヌ科で最も大きな体と強靭なアゴ、そして賢さを併せ持った動物、それがオオカミです。外見は身近なイエイヌとよく似ていますが、イヌに比べて顔つきは野生的で体もがっしりとしているなどの違いがあります。そういった、オオカミらしさをどのように強調していくのかが、キャラクターデザインをしていく際のポイントとなります。

オオカミ耳キャラのイメージ

ワイルドで力強く、そしてちょっぴり怖い。それが多くの人のオオカミに対するイメージだと思います。外見はイヌに似ているので、そういったイメージ面を強調してあげると、オオカミらしくなります。

耳の先端が丸みを帯びたようにすると、オオカミらしい耳になる

口のパターン

口はイヌより気持ち大きめに描くとオオカミらしさが出る

牙をイメージした八重歯は、イヌよりも鋭いイメージ

表情はツリ目で口元も男勝りな感じにすると、オオカミ特有の力強さやワイルドさを表現できる

耳はネコに比べて分厚く、耳毛はキツネのようにふかふか

ここでも、耳は若干斜めに向けたほうが自然

髪の毛に不揃いな感じを出すと、野性味が出る

太く、大きいしっぽは、キツネのようにふわふわにならないようにするとオオカミらしくなる。また、イヌのように感情と連動しているのも特徴

※サイドのデザインがよくわかるように、あえて腕を描いていません

ほかの動物の耳と同じように、頭の立体感と髪の毛との関係を意識して描く

ここでは、服からしっぽを出せるデザインに。もちろん、服の裾から飛び出させてもOK

かわいく威嚇するオオカミ

大きく口を開け、かわいく威嚇しています。このようにかわいらしさを出した場合、オオカミの持つイメージとのギャップを表現できます。パーカーの胸元は開けて、セクシーさもプラスしています。

ワイルドなオオカミ

ダウンジャケットを着たオオカミ耳のキャラクターです。へそ出し＋ショートパンツスタイルでワイルドさとセクシーさを出しています。首元には「WOLF」の文字を入れ、オオカミであることをわかりやすくアピールしました。

いろんなオオカミのデザイン

オオカミもキツネと同じように世界中の広い範囲に生息しており、多種多様です。ここでは、オオカミの種類から考えたデザインを見ていきます。

ハイイロオオカミ

メス

キャラクターデザイン自体は以前SNS上で公開したものです。かっこいい見た目からイメージして、気の強そうな女の子にしました。ストリート系のファッションを意識したデザインにしています。

キャップの赤は差し色

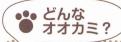
カラーイメージ

ウェーブがかったボリュームのあるおさげで、毛のもふもふ感を出している

トレーナーの裾をハーフタックイン。あえて片方の裾を出すファッションで個性を出している

しっぽはふさふさ

ショートパンツのざくざくフリンジでワイルドさをアピール

Tシャツには「KMMM（ケモミミ）」のロゴ

一般的にオオカミとはハイイロオオカミのことを指します。別名はタイリクオオカミ。顔つきは凛々しく、耳は小さめで、首の毛が長くタテガミになっています。「一匹狼」といった言葉もありますが、基本的には「パック」と呼ばれる群れで生活する動物です。家族間でのボディランゲージや表情などによる感情表現が豊かで、どこか物悲しささえ覚える遠吠えもコミュニケーション手段のひとつ。日本では、古くからオオカミを「大神」などと呼び、神の眷属（けんぞく）としての信仰があります。

ホッキョクオオカミ メス

ぱっと見たときに「ほかのオオカミに比べてお母さんのような優しい顔つきをしているな」と思ったので、胸や太ももを大きくして包容力のあるキャラクターデザインにしました。服は、北極圏に住む先住民族エスキモーのもふもふなフードなどがイメージにぴったりだったので、参考にしています。

フード形は、ケモミミがすっぽり収まるようになっている

愛嬌のある優しい表情にしていますが、髪型からはオオカミならではのワイルドさも感じるようにデザイン

民族衣装をイメージした皮でできた厚手のケープ

赤、黒、白で民族衣装にありそうな模様を入れている。白は毛色も意識

極寒地方なので、腕をガードするもふもふのアームガードで暖かく

しっぽも真っ白でふさふさ

どんなオオカミ？

北極圏に生息する真っ白なオオカミ。ハイイロオオカミの亜種です。大きさはハイイロオオカミに比べると少し小さめ。極寒地に適応するために、体毛は長めでふさふさしています。オオカミの中では比較的穏やかな性格で、人懐っこい面もあります。

全体的に原始的、ワイルドをテーマにデザインしてみました。服については、最初は原始人服のようなものにしようと思っていたのですが、もう少しギャルっぽい子にしたいと思い、原始人服のイメージを残しつつ現代風なデザインにしています。

髪のはねっ毛やごわごわ感は野生種の毛並みをイメージ

カラーイメージ

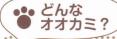
体のラインがそのまま出るような格好なのでセクシー

現代風のガチャベルトを装着。単にワイルドなだけでなく、ファッション的な要素も加えている

オオカミの足をイメージしたブーツでよりワイルドに。先端に鉤爪が付いている

remake

表情を変え、手の形やどっしりと構えたポーズでよりワイルドに。また、手に付けていた鉤爪装備も外して、ファッション的にもより現代風にしている

どんなオオカミ？

かつて日本に生息したオオカミ。1900年頃に絶滅したとされています。オオカミの中では小さい体型で、中型のイヌくらいだといわれています。耳が短いのも特徴のひとつです。古くから「大口の真神（おおくちのまがみ）」として神格化され、シカやイノシシから田畑を守る守護獣として各地の神社で信仰があります。

※絶滅種なので写真はありません

オオカミの表情アイデア

「一匹オオカミ」の言葉からクールなイメージのあるオオカミ。実際は体全体を使って仲間とのコミュニケーションを取る感情豊かな動物でもあります。力の強い動物なので、ワイルドな表情が似合います。

喜ぶ

プライドが高そうなイメージで描きました。喜びを素直に表現できず、照れてる感じです。耳は落ち着きがなく、口は半開き、目はキョロキョロさせています。

驚く

基本的には、ほかと同じ表現です。耳をピンと立て、髪の毛をぶわっと逆立てています。ワイルドなイメージがあるので、尖ったシルエットを誇張しました。

怒る

イヌよりも怖さを出しました。目つきは鋭く、眉間にもしわを寄せて、唸っているイメージです。耳は、怒りの対象に向けるのが効果的です。

悲しむ

耳をしなっとさせ、目を逸らしてばつが悪そうな感じです。クールなイメージから、落ち込んではいるけど、ほかの動物よりも感情を表に出さないようにしています。

得意げ

自信たっぷりに威厳をアピールしている表情。目は逆への字に閉じ、まゆ尻を上げ、口元はフフンと笑わせています。

遠吠え

オオカミにとって遠吠えは、仲間とのコミュニケーション手段のひとつ。恐ろしさや物悲しいイメージもあるので、表情次第でさまざまな表現ができます。

Column 2

いろんな目の形

キャラクターの個性であるとともに、見る人を大きく引き付ける部分が、目です。デザインを凝るほど印象的となり、キャラクターの性格付けにも有効。さらに、キャラクターだけでなく、描き手の強力な個性にもなります。

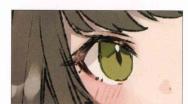
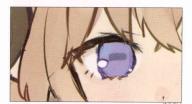
目の形

目尻は上げすぎず、下げすぎずなぱっちりとした目です。オーソドックスなかわいらしい印象になります。

目尻を上げるとツリ目になります。気が強かったり、つんけんした印象になります。

目尻を下げるとタレ目になります。おっとりとした、優しい印象になります。

瞳

瞳孔を丸くすると、スタンダードな印象になります。どんなキャラクターにも使える瞳です。

縦長の瞳孔は、ネコやキツネの瞳に近い印象です。

横長の瞳孔は、ヒツジやウシなどの有蹄（ゆうてい）類（るい）の瞳に近いです。

縦長の瞳孔をさらに細くすると、爬虫類っぽい印象になります。

上まつ毛と下まつ毛の距離を離して瞳を大きくしてあげると、明るく幼さない印象になります。

逆に、上まつ毛と下まつ毛の距離を縮めて瞳を小さくすると、落ち着いた大人っぽい印象になります。

まゆ毛

まゆ尻を上げると、勝気で自信に満ちた印象になります。ツリ目とセットで使われることが多いです。

まゆ尻を下げると、おっとりとした優しい印象だったり、困っているような表情になります。

縁取ったまゆ毛には、存在感が出ます。とくに太眉や麻呂眉は、まゆ毛に強い印象を与えたいときに使います。

5

ウサギ

ウサギは、特徴的な耳とまん丸で小さな体が特徴です。草食動物ならではのおとなしさや臆病なところ、はたまたぴょんぴょん跳ね回る元気な姿を強調したりと、いろいろな方向からデザインを考えることができます。

ウサ耳キャラのイメージ

ウサギは、草食動物で体も小さいことから、おとなしいイメージがあります。外見的には、長い耳、白い毛、赤い目のイメージで擬人化しました。

多くのウサギは、長い耳を持つ

髪型で体のまん丸さを表現するのもアリ。シルエットも柔らかい印象になる

マエ

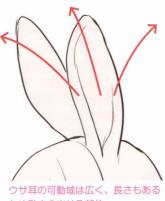
口のパターン

チャームポイントの上歯を見せるとかわいい

耳のパターン

ウサ耳の可動域は広く、長さもある
ため動きの出せる部位

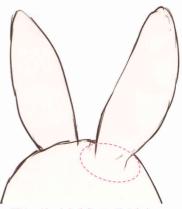
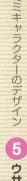
短いしっぽは、横から見
ると上向きに付いている

※サイドのデザインがよく
わかるように、あえて腕
を描いていません

小さなしっぽなので、服の装
飾として付けてもかわいい

耳は、どこから生えているのかを
きちんと決める

ロリータタイプ　メス

フリフリなロリータファッションのウサ耳キャラクターです。落ち着いた色合いでまとめることで、クラシカルな雰囲気を出しています。懐中時計はクラシカルな雰囲気を強めるとともに、『不思議の国のアリス』に登場するウサギのイメージもあります。

雪ウサギ　メス

寒い地方に生息する「ユキウサギ」と雪像の「雪ウサギ」を組み合わせたデザインです。「雪」という言葉から全体的に白を基調としたデザインにし、服装ももふもふと暖かい格好にしています。足元には実際のユキウサギも描きました。

カラーイメージ

カラーイメージ

ファンシータイプ

うさぎのふわふわかわいい感じをパステルカラーで表現しました。服をメルヘンでファンシー（ゆめかわいい）な原宿系のスタイルでまとめています。

いろんなウサギのデザイン

ノウサギやナキウサギ、そしてアナウサギなど、一口にウサギといってもその分類はさまざまです。ここではアナウサギから派生し、人間と共に生活する「カイウサギ（イエウサギ）」をベースにデザインを考えていきます。

全体的に落ち着いた色合いの中、印象的な赤い目は強い色で描写

ヒマラヤン メス

黒と白の色のイメージから、落ち着きのある大人なお姉さんにしました。大人のイメージではありますが、体型を子どもっぽくしてギャップを出しています。最も古い品種にも関わらず謎が多いとのことで、表情はミステリアスな雰囲気です。

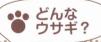
ポイントカラーのある立ち耳

カラーイメージ

レース襟が一体化したブラウス

円柱形の細長い体型をしているので、体の起伏も抑え気味。子どもっぽい体型にもなる

四肢のポイントカラーを袖口で表現

どんなウサギ？

世界で最も古い歴史を持つウサギ。名前から、ヒマラヤ山脈付近が原産と推測されますが、詳しくはわかっていません。円柱形の細長い体型と直立した耳、赤い目が特徴。毛は短くなめらかで、耳、鼻周り、四肢、しっぽはポイントで黒や茶色など、それ以外は真っ白な毛色をしています。ネコにも「ヒマラヤン」という品種がいますが、このウサギのヒマラヤンに毛色模様が似ていることが名前の由来だといわれています。

ネザーランドドワーフ メス

小柄なかわいらしさを表現するために、体をポンチョですっぽりと覆うファッションにしました。いたずらウサギなイメージもあるので、少し生意気そうで強気な表情にしています。

どんなウサギ？

「ネザーランド」はオランダ、「ドワーフ」は神話などに登場する小人を意味し、その名のとおり小さな体が特徴のウサギ。小さな立ち耳を持ち、毛色のバリエーションは豊富。性格は少し臆病ですが、慣れてくれば甘え上手でやんちゃな一面も見られます。

長い前髪はピンで留めて表情が見えるように

短めの立ち耳は毛で覆われている

カラーイメージ

ふさふさした毛のイメージから、服の袖にファーをあしらっている

イングリッシュアンゴラ オス

毛がふさふさのウサギなので、表情が見えなくなるほど前髪の長いキャラにしました。さらに、セーター＋ファー付きのカーディガンの重ね着でふさふさ感を強調しています。

どんなウサギ？

トルコ原産とされるウサギ。全身が長い毛でふさふさしているのが特徴。顔周りにも飾り毛があり、その長さは目を隠すほど。耳も豊かな毛に覆われ、先端にはタッセルと呼ばれる飾り毛があります。性格はおとなしく穏やかです。

ジャパニーズ・ホワイト

メス

日本のウサギということで、因幡の白ウサギや月のウサギのイメージから巫女風の白装束にしました。神聖さを感じる白をベースとした色味に赤を加え、全体の印象が赤くなりすぎないように反対色の青を入れています。

どんなウサギ？

和名は「日本白色種（にほんはくしょくしゅ）」。小学校などでも飼育されている日本でよく見るウサギです。短めの真っ白な体毛と真っ赤な目、大きめの立ち耳が特徴。ほかのウサギに比べて体は大きく、丈夫です。おっとりとして温和な性格をしています。

ロップイヤー メス

眠そうな表情のちょっと不思議系の女の子。もこもこしている毛のイメージから、暖かそうなニットのルームウェアを着せています。小動物系の小柄でかわいい感じを強調したかったので、ルームウェアはぶかぶか、袖口も萌え袖にしています。

もこもこなウサギさんルームシューズ。動物そのものをデザインに取り入れるテクニック

どんなウサギ？

垂れ耳ウサギの総称。主に、ホーランドロップ、フレンチロップ、イングリッシュロップ、アメリカンファジーロップ、ミニロップの5品種に分けられます。どの品種も基本的には穏やかで懐きやすい性格。好奇心も旺盛で愛嬌たっぷりですが、寂しがりな一面のある子もいます。

ライオンヘッド オス

ヤンチャな雰囲気の男の子です。名前にある「ライオン」のイメージから、髪型をワイルドな感じにしています。毛がもふもふで暖かそうだったので、ファー付きのダウンジャケットと暖かそうなブーツを着させました。

特徴的な飾り毛をフードのファーと髪型で表現

どんなウサギ？

ベルギー生まれの比較的新しいウサギ。その名のとおり、顔の周りにライオンのタテガミを思わせるような長い飾り毛（メイン）が付いています。最も一般的なのは、顔周りだけに飾り毛があるもので「シングルメイン」、顔周りとお腹の横に飾り毛があるものは「ダブルメイン」として区別します。飾り毛以外の体毛も長めで、毛色は黒や茶色のまだらなどさまざま。小さな体型で、耳は短い立ち耳です。人懐っこくおとなしい性格で、とても賢くもあります。

ウサギの表情アイデア

ウサギは、穏やかな草食動物です。肉食動物に追われているため警戒心が強く、耳や表情などで感情を見せにくい動物といわれていますが、イラストでは大きな耳を活かしてさまざまな感情を表現できます。

喜ぶ

全体的に丸みを意識して、おっとりめな表情になるようにしています。イヌよりも控えめに口を開け、上歯を見せて笑っています。

驚く

驚いたと同時に怖くて固まっているイメージで描きました。耳をピンと立て、髪の毛のシルエットも堅い感じにしています。眉毛はハの字で、口は歪ませています。

怒る

怒ってはいますが、相手に対して強く出れず、唇をきゅっと噛みしめて不機嫌なイメージです。表現として、足をだんだんさせたり（スタンピング）、「ブーブー」という鳴き声を描いてあげるのも効果的です。

悲しむ

ほかの動物と同じように、まゆ毛と目はハの字を意識しています。耳はしゅんとさせて、前に倒れているイメージです。

恥ずかしがる

動物には無い、ケモミミキャラクターならではの感情。耳は、左右違う動きをさせることで、喜びと照れの複雑な感情を表現しました。まゆ毛はハの字で、視線は落ち着きがなく、口は半開きです。

リラックスする

安心しきっている状態。耳は力無く完全に後ろに倒れます。顔は弛緩してとろけた表情です。

6

有蹄類

ヒツジやウマなどの蹄のある草食動物のことをまとめて、有蹄類といいます。ここでは、見た目はもちろん、草食動物らしい性格的な部分も含めてデザインしていきます。

ヒツジ耳キャラのイメージ

ヒツジは、草原で草を食んでいる様子や「メェ〜」という鳴き声から、おっとり優しげなイメージがあると思います。外見的には、もこもこの毛が特徴なので、ウールのセーターと髪型で表現しました。

ほとんどのヒツジが、横にピンと出た耳を持つ

マエ

耳の形自体はウサギに似ている

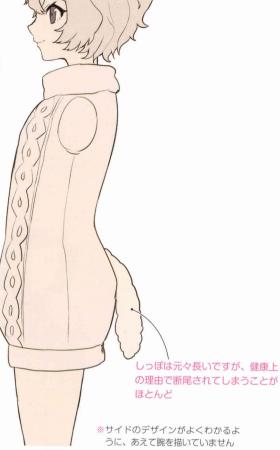
有蹄類は瞳孔が収縮すると横長になるので、デザインに取り入れてみるのもおもしろい

横から見たときの耳は、少し持ち上げるように描くと伝わりやすい

しっぽは元々長いですが、健康上の理由で断尾されてしまうことがほとんど

※サイドのデザインがよくわかるように、あえて腕を描いていません

ウサ耳と同じように、付いている位置をきちんと決めて描く

縮れたもこもこの羊毛は、ゆるふわパーマな髪の毛で表現するのもアリ

One Point

有蹄類の中には、角の生えているものもいます。多くは、角のすぐ下に耳が付いています。

いろんな有蹄類のデザイン

生息している場所や環境に合わせて、有蹄類はさまざまな進化の枝分かれをしていきました。ここでは、有蹄類の種類ごとにデザインを考えています。

ヒツジ(角無し)

オス

中性的なヒツジの男の子です。表情はクールですが、はぐれたときにわかるベルやかぼちゃ型のショートパンツでかわいらしさも加えています。もこもこのフリースパーカーと帽子で、ヒツジらしさを表現しています。

帽子のデザインにヒツジ耳が付いているのがポイント

ヒツジ耳を意識した真横に大きくぴょんと跳ねた髪型

胸のベルと赤いリボンはデザイン上のアクセント

どちらかというと、上部にパーツが集中し、下部がすっきりとしたYライン（逆三角形）のシルエット（P.21）で、男の子らしく

上着のもこもこと合うような、かぼちゃ型のショートパンツ

2本ある蹄を意識したローファー

どんな動物？

そのほとんどが飼育されており、少し縮れたもこもこの毛を持つウシ科の動物。この毛は羊毛（ウール）と呼ばれ、セーターやツイードジャケットなどの毛織物に使われます。群れたがりでリーダーに従う傾向がとても強いため、羊飼いと呼ばれる人たちは、牧羊犬などでヒツジ達を先導していきます。品種も多く、角の無いヒツジには、コリデール種や顔や体の黒いサフォーク種などがいます。

ヒツジ（角あり） メス

セーター＋２枚のカーディガンを着せ、シルエット全体で羊毛のふわふわもこもこを表現しました。表情もおっとりした感じにして、ヒツジの温厚さを出しています。

どんな動物？

一般的に、ヒツジは角のある動物です。角の形は、渦巻き状のアモン角やドリルのような螺旋状のラセン角、中には前方や後方に４本～６本の角が湾曲して伸びたりなどさまざま。角のあるヒツジには、ドーセットホーン種や羊毛で最も有名なメリノ種などがいます。なお、オオツノヒツジ（ビッグホーン）やドールシープといった野生のヒツジには当然のように角があり、体毛はもこもことしておらず、しっぽは元々短いです。

トナカイ→クリスマス（サンタさん）とイメージを連想したキャラです。赤、白、緑、茶（金）のクリスマスカラーでまとめています。

細かく枝分かれした特徴的な角

耳は角のすぐ下に付いている

全体的に色が赤や茶に寄ってしまうので、目は青の差し色にして変化を出している

首にあるもふもふ毛をイメージしたフードのファー

ダッフルコートのだぼだぼ感でシルエット的なかわいらしさを出している

トナカイっぽさを出すために、脚は気持ち細くて長めに

カラーイメージ

冬っぽさのあるファー付きロングブーツ

どんな動物？

北極圏や亜寒帯などの寒い地域に生息するシカ科の動物。アイヌ語の「トゥナカイ」が和名の元といわれており、北アメリカでは「カリブー」、北ヨーロッパでは「レインディア」とも呼ばれます。木の枝のような大きな角が特徴で、オスとメスそれぞれに生えています。この角は生え代わりがあり、オスは秋から冬にかけて抜け落ちて春に生え、メスは春から夏にかけて抜け落ちて冬に生えます。大きな群れを作る動物でもあり、常にかなりの距離を移動しながら生活しています。

奈良の神鹿（しんろく）に代表される神聖なイメージから連想したキャラクターです。男女ともに共通性のある神職の羽織を着せています。髪や目の色も同じにして、姉弟にも見えるようデザインしました。

どんな動物？

名前から日本固有種と思われがちですが、ロシアや中国などにもいます。オスには枝分かれした角が生えており、毎年春頃に生え換わります。メスに角はありません。体毛は、夏は赤茶色で白い斑点模様があり、冬は黒に近い濃い茶色で模様がほとんど見えなくなります（写真は夏毛）。

オスにだけ付いている角

やや大きめの耳は斜めにピンと立っている

カラーイメージ

カラーイメージ

和風感のある模様は、二人に共通して入っている

花の模様で女性らしいかわいらしさを加えている

イノシシ

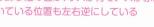
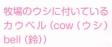
メス

和風と中国風を織り交ぜたデザインにしました。干支の亥（イノシシ）と伝奇小説『西遊記』に登場する猪八戒から連想してイメージを膨らませています。

One Point

服の裾に描かれているのは、牡丹の花模様。牡丹は、別名「富貴花」などともいわれ、とても縁起の良い花です。中国では「花の王」として親しまれています。牡丹によく似た葉牡丹は正月に飾られます。また、猪鍋のことを牡丹鍋ともいいます。

どんな動物？

ブタの祖先。先が円盤状の長く突き出した鼻が特徴で、オスには長い牙があります。冬は剛毛ですが、夏は毛が抜けて皮膚が見えるため、ただのブタにも見えます。イノシシの子ども（うり坊）の体は薄茶色で縞模様があり、これは森の木漏れ日の下や藪の葉の中での保護色です。成長するにつれて縞模様がなくなり、体毛も濃い茶色になっていきます。

ミルクを提供してくれる→カフェ→メイドさんとイメージを膨らませました。優しそうなおっとり癒し系のお姉さんです。胸は大きめ。

私たちの食卓に牛乳を届けてくれる乳牛。代表的なのはオランダ原産のホルスタイン種です。白と黒のまだら模様が特徴。まれに赤と白のまだらのものもいます。日本の牛乳の99%がこの種だといわれています。

ウシ(闘牛) メス

闘牛とカウガール（cow（ウシ）girl（女の子））のイメージを組み合わせたデザインにしました。

闘牛とは、競技として戦う牛です。この言葉は、牛と牛、もしくは牛と闘牛士が戦う競技そのものも指し、スペインでは国技にもなっています。基本的に体格の良い種が闘牛に選ばれます。

ウマ メス

競走馬→レース→レースクイーンとイメージを膨らませました。ピンクと黒のカラーリングで、派手好きなギャルっぽいデザインにしています。

細かい音まで聞き分けられる耳は180度動かせる

ウマの蹄をイメージしたロゴ

カラーイメージ

しっぽは長くてふさふさ

「PONY」の文字でウマということをわかりやすく

ポニーテールの由来は、ポニー（小型のウマ）のしっぽのように結んだ毛先が垂れていることから

網タイツっぽいソックスでギャル風に

足は細めですらっと長く

スニーカーの底は蹄型になっている

どんな動物？

乗馬による移動手段や競走馬、はたまた戦いにおける騎馬など、古くから人と関わってきた動物です。世界中でさまざまな品種が生まれており、色や大きさは実に多様。頭から首にかけてタテガミを持ち、脚力に優れた長い四肢を使って、とても速く走ります。ウマ耳は感情をよく表し、リラックスしているときは横に向け、何かに注目するときはその方向へと向け、警戒するときは左右バラバラに動かし、怒っているときは後ろへ倒します。

One Point

ウマは、それぞれの足にある蹄が1本（奇数）なので有蹄類の中でも「奇蹄類（きているい）」といわれます。ちなみに、ヒツジやシカ、ヤギ、イノシシの蹄は2本、ウシの蹄は4本の偶数なので「偶蹄類（ぐうているい）」といわれます。

ロバ

オス

ロバ→西部劇のイメージで、荒地を旅してそうなデザインにしました。全体的に線が細い感じなので、マントでイラストの広がりと動きを出しています。

どんな動物？

小型のウマ科動物。ウマよりも耳が大きいことから、ウサギウマ（兎馬）とも呼ばれます。厳しい環境に強く、整備されていない地面も難なく走れることから、アフリカなどでは移動手段や重い荷物の運搬で活躍しています。また、『ブレーメンの音楽隊』や『王様の耳はロバの耳』など、世界中で広く知られている物語によく出てくる動物でもあります。

ヤギ
メス
黒ヤギの悪魔なイメージから、黒ミサ（サバト）を連想し、儀式→神に反する（仕える）シスターとデザインを考えました。対照的な白と黒を意識しており、服装や性格も正反対な二人になるようにしています。また、正反対の中にもお互いの色を入れて、共通要素にしています。
髪の毛には、お互いの色のメッシュを入れて共通性を出している
黒ヤギは耳にピアスを付けて不良シスター風に
白ヤギは優しそうな表情で、服装にフリルや装飾を盛っている
カラーイメージ
爪と靴底には赤の差し色。これは2人の共通要素
黒ヤギはツンツンした表情で、服装の装飾は少なくすっきりまとめている
レースアップブーツ
どんな動物？
細長い耳とアゴひげが特徴のウシ科動物。頭の上から後ろに向かって湾曲した角が生えており、オスに比べてメスの角のほうが小さめです。中には角の無いヤギもいます。高い場所が好きで、山岳地帯の岩場や崖、木の上にも登ります。飼育下のヤギの品種はさまざまで、シバヤギや日本ザーネン、高級毛のとれるカシミヤヤギなどがいます。
One Point
純粋な十字架のマークは宗教的なイメージが強いため、そのまま使うのは注意が必要です。キャラクターデザインの仕事でも使用禁止とされていることがほとんどです。今回の場合も、あくまで十字架に似せたデザインにしています。

7 鳥類

翼や羽毛、くちばしなどの特徴を持った動物が鳥類です。多くの鳥は空を飛ぶことが得意ですが、中には泳ぐことだったり、走ることが得意なものもいます。ここでは、そんな鳥類のデザインを考えます。

イワトビペンギン

オス

イワトビペンギンの外見や性格から、不良っぽい兄ちゃんにしました。目つきを悪くし、髪の毛もグラデーションとメッシュにすることで、素行の悪さを表現しています。

カラーイメージ

頭の冠羽を髪の毛のメッシュで表現

服はペンギンカラーでまとめている

飾りベルトは差し色のオレンジ

くちばしの形をしたマスク。不良がマスクをよく着用していることから連想

どんな動物？

ペンギンは、飛べない代わりに泳ぐことに特化した鳥類です。イワトビペンギンは、インド洋の南や南大西洋などに生息しています。体型は小さめで、頭に黒と黄色の冠(かん)羽(う)があるのが特徴。目は赤く、くちばしはオレンジ色で、足はピンク色をしています。歩かずに飛び跳ねながら移動し、その名のとおり、岩から岩へとピョンピョン飛び移っていきます。なかなか厳(いか)つい顔をしており、性格も攻撃的です。

コウテイペンギン メス

コウテイペンギンをイメージしたパーカーファッション。寒いところにいるペンギンなので、防寒性の高いジャケットです。また、フードをかぶったシルエットがペンギンになっています。

カラーイメージ

ひなのカラーリングに
している

ひな version

差し色としてオレンジ
色は残している

カラーイメージ

ブーツのロゴはペンギンの
足跡をイメージ。上半分は
皇帝の冠になっている

どんな動物？

南極に生息する最大サイズのペンギン。別名はエンペラーペンギン。過酷な寒さに適応したまるまる太った体と密生した羽毛を持ち、毛色は頭と翼と足が黒く、腹は白、頬のあたりが黄色やオレンジ色で、黒いくちばしにはピンクやオレンジ色の模様が入ります。ひなの外見は、羽毛が薄く、全体的に灰色で頭は黒、顔は白です。水に潜ることが得意で、その能力は鳥類最高ともいわれます。

カラス　メス

カラスといえば魔女。そのイメージをそのまま表したデザインにしました。ファンタジー要素をたっぷりと入れています。カラスは黒いイメージがありますが、黒は強い色なので使いすぎると暗くなりすぎてしまいます。ここでは、帽子やマントの裏地などの面積が広い部分に黒を使い、影の色や黒と隣合う色を調整して、相対的に全体が黒に見えるようにしています。

どんな動物？

日本はもちろん、世界中の森や荒野、都市部など、どこにでも生息する鳥類です。大きなくちばしや翼をはじめとした全身が真っ黒で、漆黒の言葉が似合います。一口にカラスといっても、日本でよく見かけるハシブトガラスやハシボソガラス、北半球最大サイズのカラスであるワタリガラスなどさまざまな種がいます。日本神話の「八咫烏（やたがらす）」や北欧神話の「フギンとムニン」など、世界中に伝説のある鳥類でもあります。

ハクチョウ メス

ロシアの作曲家、チャイコフスキーによるバレエ音楽『白鳥の湖』と、寒い地域からの渡り鳥のイメージから優雅なバレリーナにしました。ハクチョウの色は白ですが、青も入れて寒色系でまとめています。

ロシアの帽子（ウシャンカ）をイメージ。羽の耳当ては暖かい

翼モチーフの羽織

バレエで着る丈の短いスカート（クラシック・チュチュ）

カラーイメージ

どんな動物？

飛ぶのも泳ぐのも得意な鳥です。真っ白な羽毛と優美な体型が特徴。日本でよく見られるのは、湖に生息しているくちばしがオレンジ色のコブハクチョウ、越冬のために渡ってくるくちばしが黄色いオオハクチョウとコハクチョウです。

ヘビクイワシ メス

外見が神秘的なイメージだったので、神聖さを感じられるデザインにしました。服装はもちろん、表情も含めてミステリアスな雰囲気にしています。

特徴的な冠羽を模した髪飾り

目立つ顔の色を、瞳や髪飾りにオレンジ色を取り入れることで表現

体の色をレオタード＋タイツで表現

カラーイメージ

どんな動物？

アフリカに生息する地上での生活に適応した猛禽類（もうきんるい）。赤（オレンジ色）の顔と羽根ペンのような冠羽、くさび形の長い尾が特徴で、脚が長く走るのが得意。決して飛べないというわけではなく、飛翔することもあります。

⑧ その他の動物

いままで紹介した以外にも、世界にはさまざまな動物がいます。ここではとくに分類に捉われず、いろいろな動物をベースにデザインを考えてみました。

デグー メス

元気に飛び跳ねる動物なので、活発な女の子にしました。ネズミは小さく丸みの帯びた体型なので、キャラの体型もそれを意識しています。愛嬌のある外見としぐさから、メルヘンでファンシー（ゆめかわいい）な原宿系ファッションのイメージです。パステル系のカラーリングでまとめました。

どんな動物？

ネズミやリスなど、物をかじることに特化した歯とアゴを持つげっ歯類の仲間。南アメリカ南西部にあるチリのアンデス山脈に生息する動物ですが、人によく懐くことからペットとしても人気が出てきました。近年は毛色のバリエーションも増えてきましたが、基本的には黄色がかった褐色の毛です。目の上下にはふさふさとした茶色の縁があり、その周りを囲うようにクリーム色になっています。声による感情表現が豊かで、歌うネズミともいわれます。

ネズミの持つ一般的なイメージをキャラクターにしました。灰色（ネズミ色）やチーズなどの要素をデザインに取り入れています。

One Point

実際のネズミはチーズが大好きというわけではないようです。しかし、世間の持つイメージというのは大切なので、デザインに取り入れていくのもアリです。

どんな動物？

リスと並ぶげっ歯類の代表動物。世界中のあらゆるところに生息し、基本的には大きな家族を作って生活しています。ハツカネズミやアカネズミ、スナネズミなど、実に多様な種がおり、その数は優に1000種を越えるほど。幅広い環境に適応し、雑食でなんでも食べ、頭の良さと警戒心の高さを併せ持つことから、人間の次に繁栄してきた哺乳類ともいわれます。

ロボロフスキーハムスター　メス

ハムスターの中でもとくに小さいということで、アンデルセン童話の『おやゆび姫』をイメージしたデザインにしました。全体的にハムスターのまん丸なシルエットが出るようにしています。

どんな動物？

ハムスターは、たくさんの餌を詰め込めるほお袋を持ち、短い四肢としっぽ、コロコロまん丸な体型が特徴のげっ歯類。ロボロフスキーハムスターは、モンゴルやロシア連邦のトゥバ共和国などを原産とし、ハムスターの中で最も小さな体型をしています。目の上の毛色が周囲と違っており、まるでまゆ毛のように見えるのも特徴。とても小さな動物ということもあり、臆病で懐きにくい性格です。

シマリスに秋のイメージが強かったので、芸術の秋ということで画家の女の子にしました。色も紅葉の赤や黄色、落ち葉の茶色などの秋色をメインにまとめています。

画家のイメージが強いベレー帽

リスの耳は飾り毛のあるものが多いが、シマリスの耳には無い

秋の植物（イチョウ、どんぐり、ぶどう）の飾り

ベレー帽に合う三つ編みおさげは、クラシカルな印象になる

しっぽは縦縞模様が入っている

どこにでもスケッチに出かけられそうなオーバーオール。あえて着崩して個性を出しつつ、おしゃれに演出

上歯でげっ歯類っぽさを加え、かわいく見せている

カラーイメージ

カジュアルなスニーカー

どんな動物？

げっ歯類リスの一種。白黒の縞模様と、餌を詰めこんで運ぶことができるほお袋が特徴。基本的には地面で大好きなどんぐりなどを探しますが、木登りも得意です。ふさふさのしっぽは、体のバランスをとったり、高いところから飛び降りたときののパラシュート代わりしたり、体に巻いて暖をとったり、天敵に出くわしたときに自らしっぽを切って逃げたりと、さまざまな用途で使われます。リラックスすると、腹ばいにペチャッとなるかわいい姿が見られます。

イタチ メス

イタチの和のイメージとすばしっこい感じから、くノ一の女の子にしました。露出の多い服装は、動きやすさを確保しながら女の子らしいシルエットが出るようにしています。

小さめの丸い耳

長い髪を高い位置でまとめたポニーテール。くノ一のイメージが強い

カラーイメージ

くノ一を象徴するアイテム1。手裏剣

ベルトとマントでシルエットに個性を出している。また、揺れるものは、イラストに動きを出せるアイテムになる

くノ一を象徴するアイテム2。いろいろな物を忍ばせておける手甲

しめ縄の紐、飾り房、鈴などの和要素を身に着けている

長いしっぽ

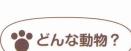
くノ一を象徴するアイテム3。足袋と草鞋

どんな動物？

イタチの仲間は、写真のイイズナ、オコジョ、テン、ミンクなど多種多様です。小さくて丸い耳を持ち、基本的には細長い体型に短い四肢を持っているのが特徴。中には、アナグマのようなずんぐりした体型のものもいます。かわいい見た目に反して、多くのイタチはどう猛で攻撃的。無暗に近づくと痛い目をみます。日本では「かまいたち」や「飯綱（いづな）」などの妖怪伝承が多い動物でもあります。

One Point

忍び装束や手裏剣などで、ひと目でくノ一とわかるようにしています。キャラクターデザインをする上で、そのキャラを象徴するわかりやすいアイテムを取り入れるのは大切です。

胴の長いフェレットなので、体のシルエットが長く見えるパーカーワンピースを着せています。フェレットの一般的な毛色を意識した白と茶色でまとめました。

イタチ科の中でも温厚な性格で、ヨーロッパでの飼育の歴史が長い動物。毛色はさまざまですが、茶色と白の色合いのものが一般的です。穴の中や狭いところに潜るのが大好きで、この習性から煙突や水道管の掃除でも活躍しています。

動きを出すためのパーツとして、髪型をサイドテールにしている。元気なキャラにぴったり

カワウソ メス

水場で遊ぶ活発で元気な女の子のイメージです。すぐにでも水の中に飛び込めそうな服装にしています。色も元気で明るい感じにしました。

しっぽは先に向かって細くなっている

泳ぎが得意なイタチ科の動物。細長い体型と短い四肢に付いた水かきが特徴。ときどき、捕まえた魚を並べる姿が目撃され、昔の人はこの様子がお供え物を祭っているように見えたことから「獺祭魚（獺祭）」といったそうです。

カラーイメージ

ホッキョクグマ
メス
寒い地域の動物なので、とにかく暖かい格好にしました。ホッキョクグマの顔と手をイメージしたフードマフラーでかわいらしさを全面に出しています。
カラーイメージ
髪の色はあえて灰色にして、全体の白色のイメージを邪魔しないようにしている
耳は短く丸い。ここでは、フードに付いている飾り耳のイメージ
白をベースにした配色に、ピンク色も混ぜてかわいらしさを強調
タイツは黒にして、全体の淡い色合いを引き締めている
ホッキョクグマの足をイメージした大きいムートンブーツ
どんな動物？
北極圏に生息するクマ。体毛はクリーム色っぽい白で、別名シロクマとも呼ばれます。この色は真っ白な大地での保護色になり、獲物の追跡や待ち伏せの際に気付かれにくくします。首の毛がほかのクマより長く、足の裏には保温のための毛が生えており、寒い地域に適応しています。海に囲まれた地域の動物なだけあって、泳ぐのも得意です。

ジャイアントパンダ メス

パンダの生息地である中国のイメージで、チャイナドレスをベースにしたスカートファッションにしました。白と黒でまとめつつ、チャイナカラーとして赤と金を随所に入れています。

どんな動物？

中国のごく一部に生息するクマの仲間。希少な動物ということもあり、100匹以上が動物園で保護、飼育されています。最大の特徴ははっきりと色分けされた白と黒の体毛です。食事は99%が竹で、春はタケノコ、夏は笹の葉、冬は茎を食べています。クマの手は、普通なにかを掴むという動きができませんが、ジャイアントパンダは前肢の骨を進化させて作った偽の指で竹を掴むことができます。

アライグマ メス

泥棒のようなマスクといたずら好きな性格から怪盗を連想し、あえてその怪盗を追い詰める探偵という位置付けのキャラにしました。表情は少し生意気な感じにして、アライグマのいたずら好きな側面を感じられるようにしています。

全体的に茶系の色に寄ってしまうので、ワンポイントカラーとして帽子のてっぺんと胸元に赤いリボンを付けている

虫眼鏡にはリボンを付けてかわいらしさを追加

探偵とひと目でわかるアイテムとして虫眼鏡を持たせている

アライグマの毛色を意識した探偵っぽいケープ。シャーロック・ホームズをイメージ

耳には白い縁取りがある

しっぽは縞々

顔の黒いマスクをイメージした帽子

スカートにはフリルを付けて女の子らしさを強調

カラーイメージ

どんな動物？

短くて丸い耳と顔の黒いマスク、そして縞々模様のしっぽが特徴の動物。タヌキに似ていますが、しっぽの模様で判断できます。5本指の前肢は発達しており、物を掴んだり、木に登ったり、はたまた閉まっているドアを開けたりとてても器用。前肢を使って水中の獲物を捕まえることもあり、この様子が手を洗っているように見えることからこの名前になったといわれています。

ハリネズミ

メス

ハリネズミの丸っこいシルエットとボリューム感を表現できるようなデザインにしました。後ろ髪にボリュームがあるため、丈の短いボリュームのあるスカートを着せて、全体が丸いシルエットに収まるようにしています。

どんな動物？

名前にネズミとついていますが、げっ歯類ではありません。最大の特徴である背中の針は、硬化した体毛です。この針は感情とよく連動しており、安心しているときは針を寝かせ、少し不快なときは頭の針だけを立て、怒ると体を丸めてすべての針を立てます。

針をイメージしてアホ毛を跳ねさせている。かわいらしさも加わる

先が少し尖った耳

背中の針をイメージした外跳ねの毛

チラッと見えるかぼちゃパンツがポイント

カラーイメージ

アカゲザル(赤毛猿)

オス

『西遊記』に登場する孫悟空のイメージでデザインしました。赤と金を基調とした色合いや飾りの付いた服装など、全体的に中国風にまとめています。

どんな動物？

中国南部やインド北部などに生息する霊長類サルの一種。山、森林、平原などさまざま環境に適応し、木登りが得意。体毛は全体的に赤っぽく、上半身は灰色が強く、下半身はオレンジ色が強い色をしています。

孫悟空を象徴するアイテム1。頭に付けた金輪（緊箍児）

サルの耳は人間に似ているが、少し大きめに

腰の青は赤に対する差し色

孫悟空を象徴するアイテム2。乗れる雲（キン斗雲）

サルの足をイメージしたシューズ

カラーイメージ

ウサギコウモリ メス

古い建物や暗い場所を好むというところから、ゴシック＆ロリータ風のデザインにしました。銀髪で肌は色白にして、ミステリアスな雰囲気にしています。

どんな動物？

コウモリは、翼を使って飛ぶことのできる唯一の哺乳類。日中は洞窟や古い建物の屋根裏など、暑さや寒さが凌げる場所にぶら下がっており、日が暮れてくると餌を求めて活動をはじめます。ウサギコウモリは、ヨーロッパに生息するコウモリの一種。まるでウサ耳のようにも見える大きな耳が特徴です。日本には、ニホンウサギコウモリという種がいます。

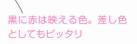
顔に対してとても大きな耳

日傘はゴシック＆ロリータ風であるとともに、暗い場所を好む動物という意味付けにもなるアイテム

黒いドレスのスカートの下にはパニエを履いて、ふんわりと膨らませている

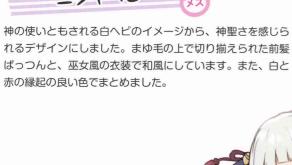
コウモリの翼をイメージしたケープ

カラーイメージ

黒に赤は映える色。差し色としてもピッタリ

後ろから見たケープ。コウモリのシルエットを意識

ニシキヘビ

メス

神の使いともされる白ヘビのイメージから、神聖さを感じられるデザインにしました。まゆ毛の上で切り揃えられた前髪ぱっつんと、巫女風の衣装で和風にしています。また、白と赤の縁起の良い色でまとめました。

縁起物の鈴の髪飾り。じゃらじゃらしたところがヘビの鱗のイメージ

瞳孔を極端に縦長にすることでヘビっぽさが出る

カラーイメージ

黒と青は、白と赤に対する差し色

ヘビの長い体をイメージした長い三つ編み

どんな動物？

体は太く長く、しっぽの短い爬虫類。この体に巻きつかれて締め付けられたらひとたまりもありません。暖かい地域の森林やサバンナ、種によっては砂漠にも生息しています。ボールニシキヘビのようにペットとして飼育される種もおり、写真の白変種（リューシスティック）をはじめとした多くの品種が生み出されています。

Column ❸

デフォルメ キャラクターのコツ

ケモミミやしっぽのかわいらしさを誇張して表現できるデフォルメイラストは、ケモミミキャラクターとの相性抜群。ここでは、2頭身と3頭身のキャラクターを描く際のポイントと2頭身キャラクターのメイキングを紹介します。

2頭身

シンプルなシルエットを意識します。細かい描き込みは行わず、見せたいパーツだけを誇張して描くのがコツです。

耳・しっぽ
耳やしっぽなどのキーとなるパーツは、誇張して大きめに描きます。

顔
目は大きく、パーツが中心に寄っていたほうがかわいいです。

手・足
小さく、短く描きます。顔の大きさが誇張されてかわいく見えます。

服
線を省略して細かいディテールは描きません。ただ、シンプルな中にも個性を出すために、最低限ポイントとなる部分だけは描いてあげます。

例）Tシャツの文字

3頭身

描き込めるスペースが増えた分、細かく描き込んであげることで密度が上がり、完成度が高く見えます。

耳・しっぽ
2頭身と同じように、誇張して大きめに描きます。

顔
2頭身では中心に寄せていましたが、体とのバランスを考えて目と口を離しています。

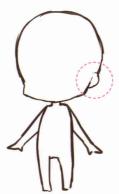
手・足
2頭身と違って、個々のパーツを大きめに描いたほうがかわいく見えます。

服
できる限り元のデザインのディテールを追うように描きます。

例）上着の膨らみ
パンツのフリンジやポケット
Tシャツの文字
シューズのディテール

2頭身キャラクターメイキング

2頭身のデフォルメキャラクターを描く手順を簡単に紹介します。
顔と体の2つの大きなくくりでとらえて描くのがコツです。
なお、基本的な描き方は、3頭身の場合も同じです。

1. アタリをとります。同じ大きさの丸を2つ描きます。3頭身の場合は、丸を3つ描きます。

耳は最終的に隠れてしまうが、描いておいたほうがイメージを掴みやすい

2. 素体を描きます。アタリの大きさに沿って頭と体の形を決めます。

3. 線画を描きます。素体を薄くして下に置き、そこに髪や目を描き、服を着せていきます。

4. 線画ができました。気持ち太めに描いてあげることで、よりデフォルメ感を出せます。

カゲはシンプルにベタ塗り。グラデーションなどもアリ

5. 色を塗ります。カゲやハイライトはシンプルめにしたほうが、デフォルメ感のあるすっきりした印象になります。

6. 塗りになじむように、線画の色を調整して完成です。

9 幻想生物

最後に、神話や伝承に出てくる空想上の存在をイメージしたキャラクターをデザインしていきます。これといった外見上の決まりはありませんが、その多くは地球上に存在する生き物の要素を組み合わせて生み出されています。

ドラゴンの持つ荒々しいイメージを擬人化しました。角の形、翼、しっぽ、足の爪、ぼろぼろのワンピースなど、全体的に刺々しいシルエットにして、外見からどう猛さが感じとれるようなデザインにしています。火の竜なので、色は赤系でまとめました。

角は荒々しさが垣間見えるような形に

コウモリをベースにした翼。紫色は差し色で、赤系でまとまった全体のアクセントになっている

髪の毛は刺々しいシルエットに

目は鋭く好戦的に。ヘビのような縦長の瞳孔で狂気や強さをアピール

火の精霊サラマンダーや、悪魔ともされる逸話から、長く尖った耳に

首輪や拘束具は、裏話を予感させるアイテム。強大な力から長らく封印されていたなどの想像が膨らむ

カラーイメージ

ウロコのあるトカゲのようなしっぽ

鋭い爪とウロコのある猛禽類(もうきんるい)のような足

翼は、腰上あたりから生えている

シーサーペント（海竜）

メス

水→踊り子と連想したデザインにしました。水の生物で踊り子ということで、水着をベースにした露出が多い服装にしています。全体のシルエットが、魚のヒレを意識したひらひらの曲線になっており、火竜とは正反対の柔らかい印象になっています。色は水ということで、わかりやすく青でまとめました。

深海魚リュウグウノツカイの頭に付いた長いヒレをイメージした、しなやかな角

爬虫類の延長の縦長の瞳孔

カラーイメージ

透明感のあるフリルで、透き通った水と女性らしさを表現

魚のヒレのような耳にすることで、海の生物ということを表現

アクセサリーとしての役割もある腰の飾りは、魚のヒレをイメージ

ベールは動きの出せるアイテム。色は、ピンクにすることで青に対する差し色となり、アクセントであるとともに全体の色味を引き締める効果がある

大きな海の生物を彷彿とさせるしっぽ。神話に登場するリヴァイアサンをイメージしている

ワイバーン(翼竜) メス

翼の飛膜のシルエットを意識したパーカーファッションです。翼竜っぽさを服のデザインに含めてみました。ワイルドさとかわいらしさが同居できるよう意識しています。

竜ってなに？

竜・ドラゴンの伝説は古今東西、世界中のあらゆるところに神話や伝承として存在しています。鋭い牙と爪を持ち、コウモリのような翼にトカゲに似たウロコと四肢を持つもの、巨大なヘビのような姿のもの、はたまた雷や嵐、津波といった自然の驚異そのものであったりと、地域によって語られる外見は大きく異なります。この本では、主に西洋で語られるドラゴンをベースに、イギリスのウェールズの旗に描かれているような赤い竜（火竜）、シーサーペントやリヴァイアサンに代表される海の竜（海竜）、ワイバーンに代表される空の竜（翼竜）をイメージしてキャラクターをデザインしています。

天使

天使→白衣の天使と連想して、ナースの女の子にしました。全体的に丸みのあるシルエットで、柔らかく優しい感じにしています。色もピンク・赤系でまとめて、女の子らしいかわいらしさが全面に出るよう心がけました。

天使ってなに？

世界中のさまざまな聖典や伝承で語られる神の使い。神に代わって人々に祝福を与え、守る存在とされることが主ですが、ときにはラッパを吹くことで終末を告げるともされ、必ずしも人の味方であるとは限りません。よくイメージされる天使像は、人に近い外見で、大きな鳥の翼を持ち、頭上には浮遊する輪っかがある姿だと思います。このイメージは、大昔の絵画や人の解釈から生まれて定着してきたものであり、元々は翼が無かったという説もあります。

One Point

病院や医療関係をイメージさせる赤十字マークですが、このマークの本来の意味は「戦地の医療関係者・施設を攻撃から守るためのマーク」です。使える場所が厳密に決まっており、安易に使ってしまうと法律違反になる場合があります。そのため、マークの色を大きく変えたり（たとえば、青やグレー）、マークそのものの形を変えて使う必要があります。今回の場合、ナースキャップに赤十字マークをアレンジした全く別のマークを付けています。

悪魔

サキュバス的なイメージを強く出した悪魔のキャラクター。サキュバスらしいセクシーな格好なのですが、自信が無いのかだぼだぼのパーカーで隠してしまっています。そういった部分でギャップを狙ったデザインです。

「666」は悪魔に関わる数字とされることがある

気弱な表情でギャップを出している

尖った耳は悪魔のイメージにピッタリ

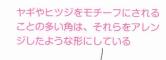
翼はコウモリをモチーフに

ピンクのパーカーはだぼだぼ。せっかくの体のラインを隠してギャップを表現

ピンクのパーカーでまとめているので、ファッション的な統一性が見えるかわいらしいスニーカーに

しっぽの形がドラゴンと大きく違う点。人を誘惑するサキュバスらしく、ハートマークにも見える形にしている

悪魔ってなに？

天使と同様に世界中で語られ、多くは、人を誘惑して堕落させる存在とされます。対価と引き換えに人の欲望を叶えるものとして呼び出されることもあれば、神や天使に対する敵として存在することもあり、天使が転じて悪魔となるパターン（堕天使）もあります。外見は、人と見分けがつかなかったり、ヤギの頭を持つ怪物（バフォメット）であったり、はたまたドラゴンの姿であったりと、決まった形を持ちません。人の持つ「善」ではない部分を指して悪魔と呼ぶこともあります。

One Point

角やコウモリのような翼など、悪魔とドラゴンは共通のイメージ要素が多く、描き分けが難しい場合があります。そういった場合は、悪魔のしっぽを独特な形にしたり、ドラゴンに爬虫類っぽいウロコを加えたりすることで違いが出せます。

Column ❹

カバーデザインができるまで

ここでは、最も目に触れる機会の多いカバーデザインが、
どのような経緯でできあがったのかを解説していきます。

ラフを考える

書籍の顔となるケモミミキャラクターのデザイン、およびイラストのラフを考えていきます。編集者からは右のような要望があったので、それを踏まえてデザインしています。

編集者からの要望

1. 前作『ケモミミの描き方』の顔となるキャラクターがオオカミ＆ウサギだったので、それ以外の動物にしたい。イヌ、ネコ、キツネのいずれか
2. 女の子で
3. キャラを大きく見せたい
4. できれば、どこかに2頭身か3頭身のデフォルメキャラを入れたい

A案

もこもこのボアブルゾンを羽織ったガーリィな装いのネコ耳キャラクター。躍動感のあるポーズにし、しぐさはネコっぽくしています。

B案

着崩したダウンジャケット＋キャップ＋スニーカーなどのストリート系ファッションを着こなしたキツネ耳キャラクター。

A案は、毛のもこもことした感じでぱっと見の季節感が強すぎるとのことで、B案をベースにデザインを詰めていくことになった

ラフの調整

B案に対して右のようなフィードバックがあったので、ラフを調整していきます。

フィードバック

1. ケモミミが主題の本なので、ケモミミを目立たせたい
2. ファッションに目がいってしまうので調整してほしい

さらに、太ももを見せるためにキャップの位置を右にずらした

イラストの完成

調整したラフにOKが出たので、イラストを完成させました。

完成したイラストをベースにデザインしたデフォルメキャラ。裏表紙に入れることになった

レイアウトを考える

ここからはデザイナーの作業になります。今回すべてのデザインを担当した広田正康氏に解説してもらいました。

まず、イラストがラフの段階で先行して、イラストとタイトルの配置を考えました。紙のサイズは「B5判」。ケモミミとしっぽの先端がタイトルで隠れないように注意します。下記の6パターンが考えられました。

文字の配置を考える

指定に沿ってタイトル等、文字の配置を考えます。右はカバーに含める文字要素です。

カバーに含める文字要素

1. タイトル
→ケモミミキャラクターデザインブック

2. サブタイトル
→動物× 擬人化

3. キャッチコピー
→もふもふ150% マシマシ！

4. 著者名
→しゅがお

4. 規定ロゴ
→超描けるシリーズ

右はデザインするにあたっての編集者からの要望です。

前作『ケモミミの描き方』と同じ「ケモミミ」のタイトルロゴを流用することで、流れを汲んでいきます。そのほか「動物」「もふもふ」「かわいい」をイメージしたデザインを考えます。

編集者の要望

1. 前作の流れを汲みたい。しかし、必要以上に寄せすぎることはない
2. 前作のように、「ケモミミ」の字を大きくしたい
3. サブタイトルは小さくてもOK

前作『ケモミミの描き方』カバー

規定ロゴ

前作のロゴ

もふもふをイメージした囲み

しっぽのようにも見えるフキダシ

あしあと

ここまでの要素を組み合わせて、カンプ（印刷物のデザイン見本）5案ができました。これを提出し、編集者と出版社に検討してもらいます。

検討と話し合いの結果、イラストを大きく見せられるA案をベースにB案をミックスする形で進めることになりました。A案のイラストの大きさとタイトルの位置はそのままに、B案のオビや地面に見えるような地色とあしあとを組み合わせます。

A案

B案

また、前作との違いを出すために、タイトルの「ケモミミ」を前作の特色ピンクとは異なる暖色系の蛍光色に変えていきます。

C案

D案

E案

サブタイトルのデザインを考える

もっとストレートに本の内容を伝えられるように、右のようにサブタイトルの変更指示が入りました。それに伴い、フキダシの中に入っていた文字を変更することになりましたが少し無理があるので、フキダシのデザインも変更する必要が出てきました。

サブタイトルの変更

動物×擬人化

↓

動物×人　擬人化アイデア＆テクニック

動物×擬人化 → 動物×人 擬人化アイデア & テクニック

デザイン的にも伝わりやすさ的にも厳しい

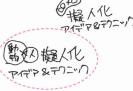
このように、2つのブロックに分けた4つの単語を並列に扱うとデザインがしにくいため、工夫する必要があります。
文字の意味を考えたときに、「動物×人」は「擬人化」と同じことなので、「擬人化（動物×人）アイデア＆擬人化（動物×人）テクニック」のように伝わるデザインを考えていくことにします。

動物 × 人　擬人化アイデア & テクニック

2ブロック

4単語

デザインしにくい単語の組み合わせなので、工夫が必要

アイデアスケッチ

右図のようにデザインし、「動物×人＝擬人化」であることを表現しました。
なお、「動物×人」と「擬人化」を「ケモミミ」のタイトル文字の補色にして揃えています。

補色にすることで全体の差し色になるため、サイズは大きくなくともそれなりに目立つ

デザインの決定

ラフイラストを完成したイラストに差し替え、デザインを進めていきます。もう一案として、「ケモミミ」のフォントを変更したバージョンを追加でデザインしました。角の丸いかわいいフォントを選んでいます。この2つのカンプを検討してもらい、最終的に「ケモミミ」の字が読みやすく前作のイメージも残るF案に決定しました。

F案

G案

表表紙以外のデザインを考える

表表紙（表1）のデザインにOKが出たので、最後にそれ以外のデザインを行います。下図は、背表紙、裏表紙（表4）、ソデを含めたカバーの全体です。必要な要素を配置してカバーデザインの完成です。

キャラクターデザインワークス

ここでは、著者が実際に携わったキャラクターデザインの一部を紹介します。掲載しているのは、キャラクターデザイン画の一部です。

■ ヒメヒナ

田中ヒメ＆鈴木ヒナによる二人組のバーチャルユニット。主にYouTubeで動画配信を中心に活動している。2019年放送のテレビアニメ『バーチャルさんはみている』では、エンディングテーマの歌唱＆ダンスを担当。

公式ホームページ
https://www.himehina.com/
HimeHina Channel
https://www.youtube.com/c/himehina

■ 田中ヒメ＆鈴木ヒナデザイン画

二人組なので、お互いが引き立つよう対照的な赤と青のイメージでデザインしました。

KMNZ（ケモノズ）

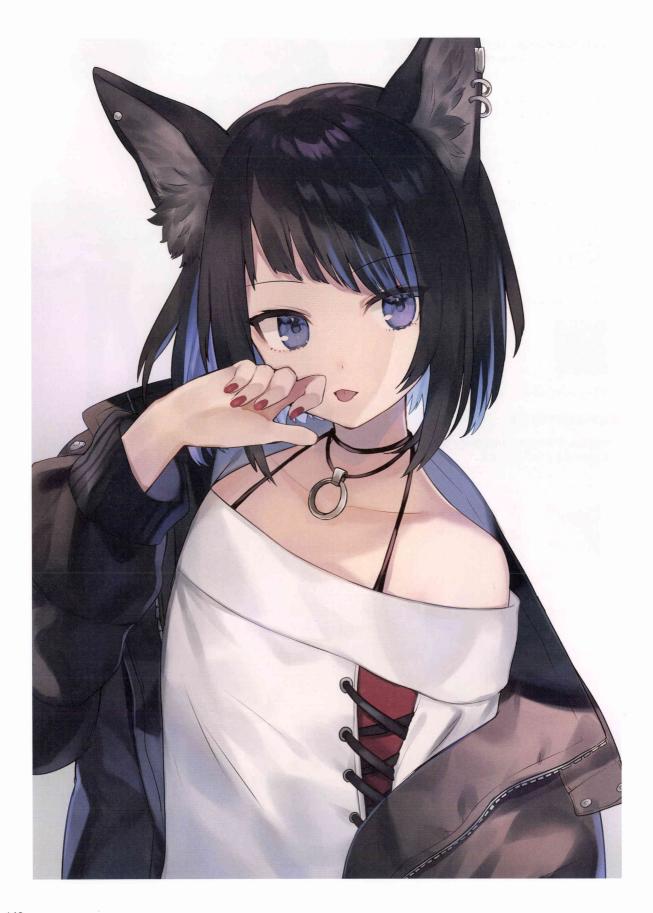
イヌ耳の女の子「LITA（りた）」とネコ耳の女の子「LIZ（りず）」によるバーチャルHIP-HOPガールズデュオ。2018年には、地上波初のVTuberのためのトークバラエティ番組「VIRTUAL BUZZ TALK ！」で司会を務め、YouTubeを中心とした音楽活動やラジオ配信など幅広い活動を行っている。

公式ホームページ
https://www.kmnz.jp/

KMNZ LITA
https://www.youtube.com/KMNZLITA

KMNZ LIZ
https://www.youtube.com/KMNZLIZ

LITA & LIZデザイン画

かっこいいデザインとかわいいデザインで、それぞれの個性が出るようにしています。

著者プロフィール

しゅがお

ケモミミが好きなイラストレーター。
主な活動履歴は、「バーチャルYouTuber 田中ヒメ＆鈴木ヒナ」、「バーチャルガールズユニット KMNZ リタ＆リズ」キャラクターデザイン、「Z/X-Zillions of enemy X（株式会社ブロッコリー）」カードイラスト、「初音ミク 10th Anniversary コラボストア in アトレ秋葉原」メインビジュアルイラストのほか、ライトノベルの挿絵、ソーシャルゲームのイラストなど。

Webサイト【KINAKOMOCCHI】

http://syugao.wixsite.com/kinakomochi

Twitter

https://twitter.com/haru_sugar02

Pixiv

https://www.pixiv.net/member.php?id=612602

参考文献

『世界動物大図鑑 ANIMAL』総編集：デイヴィッド・バーニー、日本語版総監修：日高 敏隆（ネコ・パブリッシング）
『驚くべき世界の野生動物生態図鑑』日本語版監修：小菅正夫、翻訳：黒輪篤嗣（日東書院本社）
『野生ネコの百科』著：今泉忠明（データハウス）
『野生イヌの百科』著：今泉忠明（データハウス）
『世界で一番美しい猫の図鑑』著：タムシン・ピッケラル、翻訳：五十嵐友子（エクスナレッジ）
『新犬種大図鑑』著：ブルース・フォーグル、監修：福山英也（ペットライフ社）
『新うさぎの品種大図鑑』著：町田修（誠文堂新光社）
『ウサギ・ハムスター・リスたちの医・食・住』監修：高橋和明（どうぶつ出版）
『ヤギ飼いになる』編集：ヤギ好き編集部、監修：中西良孝（誠文堂新光社）
『ザ・ハリネズミ』著：大野瑞絵、監修：三輪恭嗣（誠文堂新光社）
『かわいいフェレットの飼い方』編著：mini pet club（西東社）
『図解 知識ゼロからの畜産入門』監修：八木宏典（家の光協会）
『くらべてわかる哺乳類』著：小宮輝之（山と渓谷社）
『世界鳥類大図鑑 BIRD』総監修：バードライフ・インターナショナル、日本語版総監修：山岸哲（ネコ・パブリッシング）
『ケモミミの描き方』著：YANAMi、ひそな、些夜、カバーイラスト：文倉十（玄光社）

参考 Webサイト

みんなの猫図鑑
https://www.min-nekozukan.com/
みんなの犬図鑑
https://www.min-inuzukan.com/
その他Webサイト、動画など

動物写真協力

Adobe Stock
https://stock.adobe.com/
※一部の動物は特徴の近いものを掲載しています。

[著者] しゅがお
[企画・構成・編集] 難波智裕（株式会社レミック）
[編集協力] 新井智尋（株式会社レミック）
山口あゆみ
[デザイン] 広田正康

2019年4月4日 初版第1刷発行

[発行者] 北原 浩

[編集人] 勝山俊光

[発行所] 株式会社玄光社
〒102-8716 東京都千代田区飯田橋4-1-5
TEL：03-3263-3515
FAX：03-3263-3045
URL：http://www.genkosha.co.jp/

[印刷・製本] シナノ印刷株式会社

ケモミミの描き方

もふもふ 120%!
魅力的なケモミミキャラクターが描ける!

著者：YANAMi、ひそな、些夜
カバーイラスト：文倉十
定価：本体 1,900 円＋税
判型：B5　144 ページ
ISBN 978-4-7683-0650-5

下着の描き方

ブラジャーやショーツだけじゃない。ランジェリー・ファンデーション・アンダーウエア…下着の種類の解説や描き方・ポーズのコツも満載!

カバーイラスト：森倉円
イラスト：シソ、ぐる、B- 銀河
定価：本体 1,900 円＋税
判型：B5　128 ページ
ISBN 978-4-7683-0806-6

表現の幅を広げる モノクロイラストテクニック

白黒だけでカラーを凌駕しよう!
モノクロのキャラクターイラストの作画テクニックを多数紹介。

著者：jaco
定価：本体 2,000 円＋税
判型：B5　160 ページ
ISBN 978-4-7683-0980-3